SOTEC

Tideo

Tideo ユーザーズガイド

TideoDV・
TideoDVD・
TideoTVの使い方を
説明しています。

重要なお知らせ

・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならび、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねます。
・本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品にあらかじめインストールされているOS以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
・本製品を使用中、万一その不具合により、録画・録音されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
・本マニュアル中の画像・イラストは、モデルをご使用の環境により実際の画像と異なる場合がございます。

著作権について

本書の全ての内容は著作権法によって保護されています。株式会社ソーテックの許可なしに、本書の内容の一部、または全部を無断で複写、転載することを禁じます。

本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

はじめに

このTideoユーザーズガイドでは、付属のAVソフトTideoDV、TideoDVD、TideoTVの主な機能説明のご紹介と、基本的な操作方法を説明しています。
TideoDVはデジタルビデオ編集ソフト、TideoDVDはDVD・ビデオCD・オーディオCDの再生ソフト、TideoTVはテレビをパソコンで見るためのソフトです。
また、Tideo FamilyはTideoDV・TideoDVD・TideoTVなどのSOTECメディアコントローラ（メディアコントローラ）により統合されるAVソフト群の総称です。

本書は、Tideo Familyに含まれているすべてのソフトウェアの紹介と操作の説明をしています。
お客様のパソコンのモデルによっては収録していないソフトウェアがございますが、ご了承ください。

目　次

Step1
Tideo Family について

Step2
TideoDV でデジタルビデオを編集する

Step3

TideoDVD を使用する

Step4

TideoTV でテレビを見る

Step 1

Tideo Family について

Tideo Family は、TideoDV・TideoDVD・TideoTV などのメディアコントローラにより統合される AV ソフト群の総称です。メディアコントローラは、Tideo Family の各製品を簡単に実行できるようにするランチャーユーティリティです。

1 Tideo Family について

Tideo Family は、メディアコントローラにより統合される AV ソフト群の総称です。

Tideo Family 製品をインストールする

Tideo Family 製品をインストールする方法について説明します。

1 Tideo Family CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

機種により、CD-R/RW ドライブ、DVD-ROM ドライブを使用します。

2 インストールプログラムが自動実行されて、次のような画面が表示されます。

[スタート]メニューから、直接コマンドを入力して実行することもできます。[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択した後、「D:\install.exe」と入力して[OK]ボタンをクリックします。CD-ROM ドライブの名前が E:の場合は、D:のかわりに E:と入力します。

3 メニューから、インストールしたい Tideo Family 製品を選択します。

4 インストールプログラムが実行されたら、画面の指示に従います。

各製品別の詳しいインストール方法は、次のページを参照してください。

・TideoDV ……………………☞49 ページ
・TideoDVD …………………☞74 ページ
・TideoTV……………………☞102 ページ

選択した Tideo Family 製品が、すでにインストールされている場合は、再インストールしても大きな支障はありませんが、安全のため、該当する Tideo Family 製品をアンインストールして、再度インストールしてください。

メディアコントローラを使用する

メディアコントローラは、Tideo Family の各製品を簡単に実行できるようにする統合ソフトです。TideoTV をインストールした場合には、予約録画などにも使用できます。

1 メディアコントローラは、Tideo Family 製品をインストールすると自動的にインストールされます。

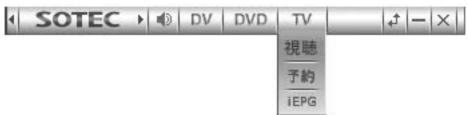
インストールされたメディアコントローラは、[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[スタートアップ]フォルダに登録されて、Windows を起動すると自動的に実行されます。

2 コンピュータを起動すると、画面にメディアコントローラが表示されます。

をクリックすると、縦方向になります。

3 Tideo Family 製品の名前をクリックすると、該当するプログラムが実行されます。

4 [TV]ボタンをクリックすると、[視聴]、[予約]、[iEPG]の 3 つのサブボタンが表示されます。

元に戻すには一番上の[TV]ボタンをクリックします。

●[視聴]サブボタンをクリックすると、TideoTV が実行されます。

●[予約]サブボタンをクリックすると、TideoTV の予約画面が表示されます。予約録画についての詳しい説明は、step4・3「テレビ番組を予約録画する」を参照してください。(☞ 88 ページ)

●[iEPG]サブボタンをクリックすると、Web ブラウザを実行します。
iEPG のホームページに接続して、簡単に録画の予約を設定することができます。
iEPG ホームページからの予約録画についての詳しい説明は、step4・3「テレビ番組を予約録画する」を参照してください。(☞ 90 ページ)

iEPG のホームページに接続するには、インターネット接続環境が設定されていなければなりません。インターネット接続環境の設定をしていない場合は、Web ブラウザを実行する前にインターネット接続環境の設定をしてください。

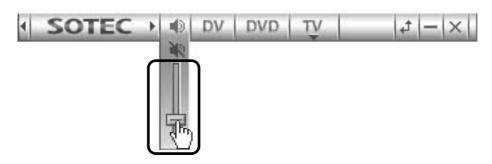
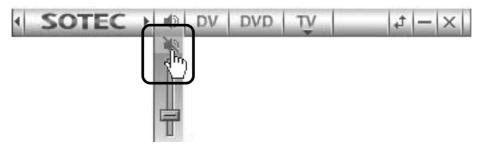
5 ✕をクリックすると、メディアコントローラを隠します。

注意

メディアコントローラの✕は、メディアコントローラを隠すだけで実際にはプログラムを終了するものではありません。ポップアップメニューの終了を選択すると、メディアコントローラは終了します。

6 –をクリックすると、メディアコントローラを最小化してアイコン状態になります。

7 🔊をクリックすると、下の図のようなボリューム調整スライドが表示されます。

スライドボタンを上に動かすと音は小さくなり、下に動かすと音は大きくなります。
再び🔊をクリックすると、ボリューム調整スライドが消えます。

8 🔇をクリックすると、ミュート状態になります。

9 左端をクリックすると、メディアコントローラの色を選択できます。

10 **メディアコントローラ上のクリック可能な場所にマウスを置き、しばらくすると、ポップアップヘルプでボタンの使い方が表示されます。**

11 **システムトレイのメディアコントローラアイコン上でマウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。**

このポップアップメニューからでも同じ機能を実行することができます。

12 **AFiNA AV モデルの場合は、MP3 Player、Audio Control、MD Controller、Wave Editor がインストールされているため、次のような形に変わります。**

MP3、CD、MD、WAVE のそれぞれのボタンをクリックすると該当するアプリケーションが実行されます。
また、ミュートボタンの代わりにオーディオ出力の選択ボタンが表示されます。
ボタンをクリックすると、ボタンが に変わり、TAPE/AUX オーディオ出力に切り換えられます。
もう一度 ボタンをクリックすると、ボタンが に変わり、再び PC USB オーディオ出力に切り換えられます。
ミュートボタンは、 をクリックすると、ボリューム調整スライドの上に表示されます。

Step 2

TideoDV で デジタルビデオを編集する

TideoDV は、初めての方にも簡単にご使用いただける DV 編集ソフトです。TideoDV を使えば、デジタルビデオで撮影した大切な思い出を一編の映画のように編集することも可能です。

1 TideoDV を始める前に

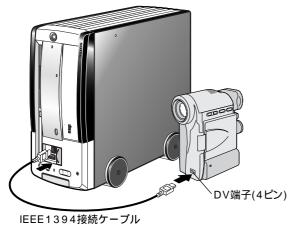
TideoDV を始める前に、パソコンにデジタルビデオ機器を接続します。

デジタルビデオ機器について

TideoDV は映像の圧縮に、デジタルビデオ機器の標準フォーマットである DV フォーマットを使用しています。また、デジタルビデオ機器と接続するために IEEE1394 インターフェースを使用します。ソニー、松下、シャープ社などのデジタルビデオ機器製品はもちろん、IEEE1394 端子を持っているほとんどのデジタルビデオ機器をサポートしています。

一部のデジタルビデオ機器は TideoDV が正常に動作しない可能性があります。詳しくは TideoDV のホームページを参照してください。

デジタルビデオ機器の接続のしかた

IEEE1394 端子を持っているデジタルビデオ機器を次のように接続します。

※接続図は AFiNA PC を例に説明しています。

パソコンとデジタルビデオ機器を接続するには IEEE1394 ケーブルが必要です。このケーブルは通常パソコン側は 6 ピン、デジタルビデオ機器側は 4 ピンのコネクタで構成されています。

2 TideoDVの起動と終了

TideoDVの起動と終了、メイン画面の各部の名称、新規プロジェクトの作成について説明します。

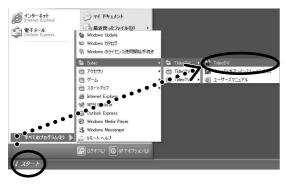
TideoDVを起動する

1 デジタルビデオ機器をパソコンに接続します。

1「デジタルビデオ機器の接続のしかた」を参照してください。(☞ 12ページ)

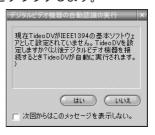
注意

映像のキャプチャや録画の作業を行わない編集だけの場合は、デジタルビデオ機器を接続する必要はありません。

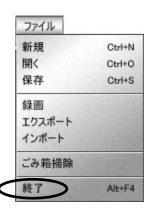
2 [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Sotec]→[TideoDV]の順に選択します。

Windows XPでは、使用頻度の高いアプリケーションはスタートボタンの上に表示されます。このアイコンをクリックしても起動することができます。

3 TideoDVのメイン画面が表示されます。

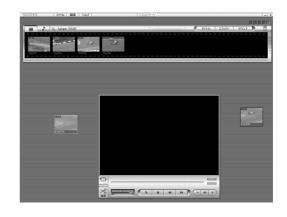
アドバイス

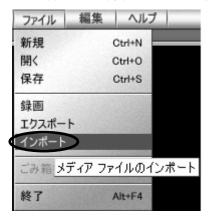
デジタルビデオ機器を接続せずに起動した場合、【ディジタルビデオ機器の自動確認の実行】ダイアログが表示されます。デジタルビデオ機器を接続したときの基本ソフトウェアにTideoDVを使用するときは、[はい]ボタンをクリックします。

TideoDVを終了する(Alt+F4)

1 画面の右側上段の × をクリックします。

または、[ファイル]メニューの[終了]を選択するか、キーボードから[Alt]+[F4]キーを押すと終了します。

メイン画面の各部名称

TideoDV のメイン画面には様々な機能のアイコンとボタンがあります。
各々の詳細機能はこの後の説明を参照してください。

モニターウィンドウ、ストーリーウィンドウはどこでも移動が可能です。移動させるときは、ウィンドウの上部分をドラッグさせます。

ヘルプの表示のしかた(F1)

[ヘルプ]メニューの[ヘルプ]を選択､または[F1]キーを押すと、Web ブラウザが実行され、HTML 形式の TideoDV ヘルプが表示されます。また、メニュー項目や、ボタンにマウスカーソルを合わせると簡単なヘルプが表示されます。

[ヘルプ]メニューの[バージョン情報]を選択すると、TideoDV のバージョンが表示されます。

ホームページへのアクセス

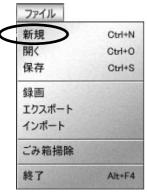
画面上段中央の[TideoDV]アイコンをクリックすると、Web ブラウザが実行され、TideoDV ホームページが表示されます。本ユーザーズガイドのほか TideoDV についての追加情報や、最新アップグレード、サポートに関する情報を得ることができます。
画面上段左側の[SOTEC]アイコンをクリックすると、Web ブラウザが実行されホームページ(http://www.sotec.co.jp)が表示されます。

インターネット接続環境が設定されていない場合は、インターネット接続環境をまず設定してください。

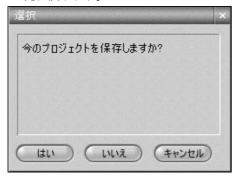
step 2 TideoDV でデジタルビデオを編集する

新しいプロジェクトの作成(Ctrl+N)

1 **TideoDV を起動します。**

2 **[ファイル]メニューから[新規]を選択します。**
または、キーボードから[Ctrl]+[N]キーを押します。

インストール時、サンプルプロジェクトをインストールしなかった場合は、次の画面が表示されます。[新規]ボタンをクリックしてください。

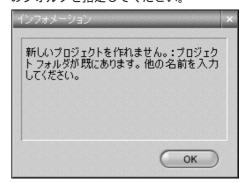
アドバイス

以前のプロジェクトを保存していない場合は、保存を確認するダイアログボックスが表示されます。保存する場合は[はい]ボタンを、しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。[キャンセル]ボタンをクリックすると元に戻ります。

3 **新しいプロジェクト名を入力するダイアログボックスが表示されます。**

4 **新しいプロジェクト名を入力して[OK]ボタンをクリックします。**

アドバイス

- **新しいプロジェクトは初期設定で[マイ ドキュメント]→[TideoDV]に保存されます。別のフォルダに保存したい場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダを選択します。**

- **同名のプロジェクトが既に存在する場合は、プロジェクトを作成することができません。もう一度別の名前を入力するか、別のフォルダを指定してください。**

プロジェクトの呼び出し(Ctrl+O)

TideoDV を実行すると、常に最後に作業していたプロジェクトが表示されます。他のプロジェクトを呼び出す場合は次の手順で行います。

1 [ファイル]メニューの[開く]を選択します。

または、キーボードから[Ctrl]+[O]キーを押します。

2 プロジェクトファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

プロジェクトファイルは、「.DVP」という拡張子が付いて表示されます。

3 希望するプロジェクトファイルを選択した後、[開く]ボタンをクリックします。

プロジェクトの保存(Ctrl+S)

編集したプロジェクトを保存するには、次の手順で行います。

1 [ファイル]メニューの[保存]を選択します。
または、キーボードから[Ctrl]+[S]キーを押します。

作業中は、プロジェクトをこまめに保存するようにしてください。DV データは容量が大きいため、これを処理するためには多量のシステムリソースが必要となります。従って、映像作業の途中でシステムが不安定になることがあります。特に複雑な編集を行う前後には、プロジェクトを保存することをお勧めします。

3 映像をキャプチャする

デジタルビデオ機器の映像を TideoDV を使って、キャプチャしましょう。

キャプチャモードへの切り替え

映像を編集するためには、ハードディスクに映像をキャプチャすることから始めます。

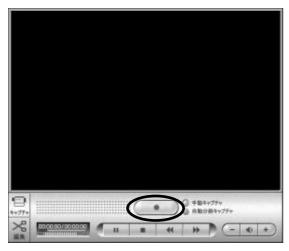
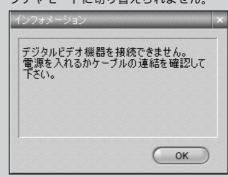
1 デジタルビデオ機器をパソコンに接続します。

1「デジタルビデオ機器の接続のしかた」を参照してください。(☞ 12 ページ)
このとき、デジタルビデオ機器をビデオモードに設定します。

2 モニターウィンドウ左側下段の をクリックします。

約 4 ～ 5 秒後、キャプチャモードに切り替わります。

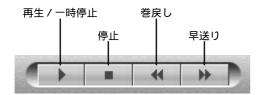
3 キャプチャモードに切り替わると、モニターウィンドウの下段に[キャプチャ]ボタンが表示されます。

注意

- 映像をキャプチャするには、デジタルビデオ機器がビデオモードに設定されていなければなりません。もしカメラモードに設定されている場合は、キャプチャモードに切り替えられません。
- デジタルビデオ機器が未接続(もしくは接続不良)であったり、デジタルビデオ機器の電源が OFF になっていたりすると、キャプチャモードに切り替えられません。

4 キャプチャモードから元の映像編集モードに戻るには、モニターウィンドウ左側下段の をクリックします。

もしくは作業領域内の映像クリップをダブルクリックして再生するか、クリップをストーリーウィンドウに移して編集作業をしても、自動的に映像編集モードに戻ります。

デジタルビデオ機器の操作

キャプチャモードでは、コントローラのボタンを使用してデジタルビデオ機器の再生や巻戻しをします。

アドバイス

・映像再生中、▶は❚❚にかわります。
・▶▶は、デジタルビデオ機器が停止状態の時は早送りを、デジタルビデオ機器が再生中の時には早送り再生をします。
・◀◀も同様に、デジタルビデオ機器が停止状態の時は巻戻しを、デジタルビデオ機器が再生中の時には、巻戻し再生をします。

注意

操作中にデジタルビデオ機器の電源が切れたり、接続ケーブルが抜けたりすると、一時的にプログラムの反応が遅くなります。この場合は をクリックした後、編集モードに戻るまでしばらく(約5秒)お待ちください。

映像をキャプチャする

映像をキャプチャするには、次の手順で行います。

1 キャプチャモードに切り替えた後、デジタルビデオ機器を再生します。

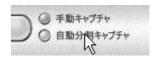
2 モニターウィンドウのプレビュー画面に表示される映像を見ながら、キャプチャをスタートしたい時点で[キャプチャ]ボタンをクリックします。

注意

キャプチャモードでデジタルビデオ機器を再生すると、モニターウィンドウのプレビュー画面に映像が表示され、パソコンのスピーカから音が再生されます。しかし、キャプチャをしている間は映像だけが表示されて音は再生されません。[キャプチャ]ボタンをクリックしたとき、パソコンから音が流れてこなくても音は正常に録音されます。

3 映像キャプチャの方法には「手動キャプチャ」と「自動分割キャプチャ」の2つがあります。

●「手動キャプチャ」は、ユーザーがデジタルビデオ機器を再生しながら、キャプチャしたい時点でボタンを押し、キャプチャをスタートさせる方法です。
「手動キャプチャ」は撮影時点に対する情報がテープにきちんと記録されていない場合や、撮影した場面の中から一部分だけをキャプチャする場合に使用します。

●「自動分割キャプチャ」は、デジタルビデオ機器にユーザーが撮影をスタートし終了させた情報をDVテープから認識し、映像を各場面ごとにキャプチャします。

4 キャプチャ中のモニターウィンドウには、キャプチャした映像の時間が表示されます。

アドバイス

映像の長さはmm:ss:ff形式で表示されます。mmは分、ssは秒、ffはフレームを表わします。
フレームは映像の最小単位で、1フレームは1/30秒です(NTSCビデオ基準)。映像は長さが1分より短いときはss:ff形式で表示されます。
例えば、00:15は15フレーム(0.5秒)、33:02は33秒2フレーム、04:34:12は4分34秒12フレームを意味します。

5 キャプチャを終了する場合は、[キャプチャ]ボタンをもう一度クリックしてください。

6 キャプチャが成功すると、作業領域に新しくキャプチャした映像が追加されます。

キャプチャした映像名の変更

キャプチャした映像の名前は、キャプチャした順番によって、「クリップ 01」、「クリップ 02」のように自動的に付けられます。映像の名前を変更したい時には、作業領域から映像を選択して、映像の名前の部分をクリックします。

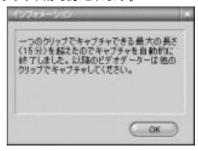
映像キャプチャ時の注意点

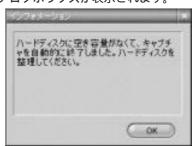
●DV 映像と音データは 1 分当り、約 210MB のディスク容量を必要とします。ハードディスクの空き容量が十分でなければ、キャプチャの途中で、エラーが発生することがあります。空き容量は、モニターウィンドウにあるディスプレイパネルの空き容量表示アイコンの上にマウスカーソルを移動すると、確認することができます。

ハードディスクを定期的に最適化すると、キャプチャ時に問題が起こりにくくなります。次の手順でハードディスクの最適化を行います。

①[スタート]ボタン→[コントロールパネル]の順に選択します。
②[パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックします。
③「ハードディスクを整理してプログラムの実行を早くする」項目をクリックします。
④最適化したいドライブを選択して、[最適化]ボタンをクリックします。

または、[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[ディスクデフラグ]の順に選択しても、最適化を実行することができます。

●TideoDV で一度にキャプチャできる映像の長さは、15 分を超えることができません。キャプチャをはじめた後、15 分を超えるとキャプチャが自動的に終了して、次のダイアログボックスが表示されます。

それぞれの映像は最大 15 分に制限されていますが、編集プロジェクトはいろいろな映像を集めて作るので製作可能な長さには制限がありません。ハードディスク容量が充分であれば 15 分以上の長いプロジェクトも編集が可能です。ただし編集が終わったプロジェクトをデジタルビデオ機器に録画する場合、直接録画する方法には問題はありませんが、それ以外の方法では 15 分を超えるプロジェクトは録画することができません。8「録画」を参照してください。(☞44 ページ)

●キャプチャの途中でハードディスクの空き容量がなくなってしまった場合、自動的にキャプチャが終了し、次のようなダイアログボックスが表示されます。

・DV データは容量が大きいので、これをキャプチャするためには多量のシステムリソースを必要とします。キャプチャ時には、TideoDV 以外のプログラムを終了してください。
・映像をキャプチャするには、高速のハードディスクが必要です。SCSI 方式あるいは DMA/33 以上の IDE 方式のハードディスクを推薦します。速度が遅いハードディスクを使うとキャプチャした映像や音響が途切れる場合があります。

●IDE 方式のハードディスクを使用する場合、システムのDMA オプションを有効にしてください。弊社のパソコンは出荷時にこのオプションが有効になっています。システムの再設定やディスクの交換を行った場合には、このオプションが有効になっているか、確認してください。確認は次の手順で行います。

1 **[スタート]ボタン→[コントロールパネル]の順に選択します。**

2 **[パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックします。**

3 **「コンピュータの基本的な情報を表示する」項目をクリックします。**

4 **システムプロパティの[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**

5 **[IDE ATA/ATAPI コントローラ]項目をダブルクリックして内容を表示させます。**

6 **[プライマリ IDE チャンネル]をダブルクリックし、[詳細設定]タブをクリックします。**

7 **「転送モード」を「DMA（利用可能な場合）」に設定します。**

8 **[OK]ボタンをクリックします。**

Windows95/98、Me をお使いの場合、[デバイスマネージャ]タブから[ディスクドライブ]の項目を選択してください。Windows2000 の場合は、WindowsXP と同様です。

4 映像編集

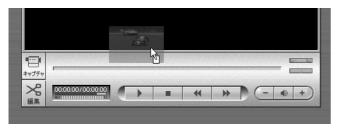
TideoDVでキャプチャした映像を、トリミング機能を使って編集しましょう。

作業領域での映像選択/再生

映像をキャプチャすると、作業領域に小さな画面が表示されます。キャプチャした映像を再生するには、次の手順で行います。

1 作業領域の映像を再生するには、次の4つの方法があります。

①映像をマウスで選択した後、コントローラの[再生]ボタンをクリックします。
②映像をマウスで選択した後、スペースキーを押します。
③映像をマウスで選択した後、モニターウィンドウにドラッグアンドドロップします。
④映像をダブルクリックします。

アドバイス

・映像が再生されている途中にコントローラの[一時停止]ボタンをクリックして、映像を一時停止すると、フレーム移動ができます。
[II]をクリックすると、映像が一時停止します。
[▶]をクリックすると、再生を再開します。
[▶▶]をクリックすると、映像が10フレーム前に移動します。
[◀◀]をクリックすると、映像が10フレーム後ろに移動します。
[■]をクリックすると、再生が中断されて一番最初のフレームに移動します。
・スペースキーでも映像再生と一時停止が実行できます。スペースキーを押すごとに、一時停止と再生が繰り返されます。

2 モニターウィンドウ内の再生バーの上に現在の位置をしめすポインタが表示されます。

このポインタをドラッグすると、希望する位置に移動できます。

アドバイス

映像を再生させたり一時停止する状態で、現在位置表示ポインタ左側、または右側にマウスカーソルを移動してクリックすると、映像を1フレームごとに前進、あるいは後進しながら見ることができます。この機能は、特に映像トリミング時に正確な位置を探すのに大変役に立ちます。

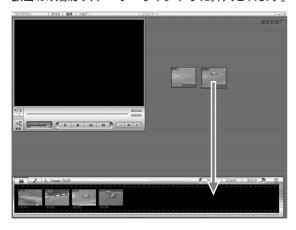
3 モニターウィンドウの右側下段の[+]/[−]ボタンをクリックして再生音量を調節します。

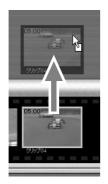
[🔈]をクリックすると、サウンドがミュートになります。サウンドを聞く場合は、もう一度クリックします。

カット編集

映像編集の基本は、キャプチャした映像を好みの順に配置することです。これをカット編集といいます。カット編集は、作業領域にある映像を選択して、画面の下段のストーリーウィンドウに挿入します。

1 作業領域から任意の映像の画面を選択した後、ストーリーウィンドウにドラッグアンドドロップします。

該当の映像がストーリーウィンドウに挿入されます。

2 ストーリーウィンドウ内で映像の順番を変えるには、映像を選択した後、ドラッグして希望の位置にドロップします。

3 ストーリーウィンドウでの映像の削除は、映像をドラッグして作業領域にもう一度移します。

ストーリーウィンドウでの映像選択/再生

1 編集したストーリー全体を再生するには、作業領域の空いている空間をクリックした後、コントローラの[再生]ボタンをクリックします。

またはキーボードの[スペース]キーを押します。

2 編集したストーリーウィンドウ内の特定の位置から映像を再生するには、該当する映像をマウスで選択した後、コントローラの[再生]ボタンをクリックします。

またはキーボードの[スペース]キーを押します。

アドバイス

手順 1、2 のように、いくつかの映像を再生する場合は、モニターウィンドウ内の再生バーに各映像の相対的な長さが表示されます。また、再生している間、現在位置を表すポインタがストーリーウィンドウに表示されます。

3 編集したストーリーウィンドウ内の特定の映像だけを再生するには、その映像をダブルクリックします。

または、この映像を選択した後、モニターウィンドウにドラッグアンドドロップします。

4 映像が再生されている途中は、コントローラのボタンで一時停止やフレーム移動などができます。

- をクリックすると、映像が一時停止します。
- をクリックすると、再生を再開します。
- をクリックすると、映像が 10 フレーム前に移動します。
- をクリックすると、映像が 10 フレーム後ろに移動します。
- をクリックすると、再生が中断されて一番最初のフレームに移動します。

アドバイス

[スペース]キーでも映像再生と一時停止が実行できます。[スペース]キーを押すたびに一時停止と再生が繰り返されます。

映像トリミング(Ctrl+E)

映像をキャプチャする際に、撮り間違った部分や不必要な部分までキャプチャしてしまう場合があります。キャプチャした映像から不必要な部分を切り捨てる作業をトリミングといいます。トリミングは、ストーリーウィンドウに映像を挿入する前に行います。

1 作業領域から映像をダブルクリックします。

または、モニターウィンドウにドラッグアンドドロップして再生します。

2 映像が再生されている間、コントローラボタンや[スペース]キーを使って、希望の位置で映像を一時停止します。

一時停止している状態で、現在位置ポインタの左右をクリックして、映像を 1 フレームごとに前進あるいは後進させ、正確な位置を簡単に探すことができます。

3 モニターウィンドウの再生バー下側で、現在位置表示ポインタのすぐ下の位置にマウスカーソルを移動すると、カーソルが手の形に変わります。

4 手順 3 の状態でクリックすると、現在位置がスタート位置に設定されます。

または、シフトキーを押した状態でクリックすると、現在位置がエンド位置に設定されます。

アドバイス

モニターウィンドウの再生バー下側の、両はじにあるポインタ△をドラッグして、スタート位置とエンド位置を直接設定することができます。スタートとエンド位置をドラッグする場合は、再生バー上側の現在位置表示ポインタが一緒に動きます。

5 再生バー右側の クリックします。

または[Ctrl]+[E]キーを押すか、[編集]メニューから[抽出]を選択します。

アドバイス

「抽出」機能で削除した両端の部分は、実際にはハードディスクから削除されません。必要な場合は、映像を後で復元することができます。

6 スタートとエンド位置で指定した部分が抽出されて、新しい映像が作業領域に表示されます。

映像分割(Ctrl+T)

キャプチャした映像から使用する部分が 2 つ以上ある場合、抽出機能だけでは欲しい映像を得ることができません。この場合オリジナル映像を 2 つに分割した後、それぞれに抽出機能を使用します。分割機能を応用すると、撮影した映像の中から使用する場面をひとつひとつキャプチャする必要がなく、映像全体を一度にキャプチャした後、必要な部分を取り出して編集することもできます。

1 作業領域やストーリーウィンドウから、映像をダブルクリックして再生します。

2 再生バーの上側のポインタをドラッグして分割する位置に移しておきます。

3 再生バー右側の ▭ をクリックします。

または[Ctrl]+[T]キーを押すか、[編集]メニューの[分割]を選択します。

編集
取り消し Ctrl+Z
取り消しを戻す Ctrl+R
コピー Ctrl+C
切り取り Ctrl+X
貼り付け Ctrl+V
削除 Del
抽出 Ctrl+E
分割 Ctrl+T
整列 Ctrl+A
環境設定

4 映像が分割されて新しい映像が作業領域に表示されます。

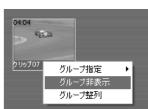
映像グループ管理

長いプロジェクトを編集していると、たくさんの映像が作業領域に生じるようになり、不便に感じられます。その場合には、映像を内容によってグループに分類して管理すると便利です。最大 5 つのグループに分類でき、それぞれのグループは色で区別されます。

1 映像を選択した後マウスの右ボタンをクリックして、ポップアップメニューから[グループ指定]を選択し、希望のグループを指定します。

キャプチャし終わった後のすべての映像は、初期設定で黒色のグループに指定されます。

2 作業領域から特定のグループに属する映像を隠すには、映像を選択した後、マウスの右ボタンをクリックして、ポップアップメニューから[グループ非表示]を選択します。

または、作業領域の右側上段にある各グループの代表アイコンをクリックしても可能です。

3 同じグループに属する映像を作業領域の一つの場所に集めるには、映像を選択した後、マウスの右ボタンをクリックして、ポップアップメニューから[グループ整列]を選択します。

そのグループに属する映像が、該当映像を中心に整列されます。

映像削除(Delete)

不要な映像は削除することができます。

1 **作業領域やストーリーウィンドウから映像を選択します。**

2 **キーボードから[Delete]キーを押します。**
または、[編集]メニューの[削除]を選択します。
映像が削除されます。

編集
取り消し Ctrl+Z
取り消しを戻す Ctrl+R
コピー Ctrl+C
切り取り Ctrl+X
貼り付け Ctrl+V
削除 Del
抽出 Ctrl+E
分割 Ctrl+T
整列 Ctrl+A
環境設定

アドバイス

映像をドラッグして[ごみ箱]アイコンにドロップしても、映像を削除することができます。

作業取り消し(Ctrl+Z)

作業取り消し機能は、削除した映像の復元などに便利な機能です。取り消し機能は、全ての編集過程で作業した事を取り消すことができます。

1 **作業取り消し機能を使うには、[編集]メニューの[取り消し]を選択します。**
または、キーボードから[Ctrl]+[Z]キーを押します。

注意

- **プロジェクトを保存すると、保存以前の作業については取り消し機能を使えなくなります。**
- **TideoDV は映像を作業領域から削除しても、取り消し機能のためごみ箱に映像を保管しています。映像をハードディスクから完全に削除するには、後で説明するごみ箱を空にする機能を使ってください。プロジェクトを保存した場合は、ごみ箱は空になります。(☞「ごみ箱の掃除」30 ページ)**

作業取り消しを戻す(Ctrl+R)

取り消した作業を再び元に戻すときに使う機能です。例えば削除した映像を「取り消し」機能によって復元しても、「取り消しを戻す」機能を使えば再び削除状態に戻すことができます。

1 **[編集]メニューの[取り消しを戻す]を選択します。**
または、キーボードから[Ctrl]+[R]キーを押します。

映像の切り取り/コピー/貼り付け(Ctrl+X/C/V)

作業領域の映像に対して、クリップボードへの切り取りや、貼り付けができます。

1 映像をクリップボードに移すには、作業領域から映像を選択して、[編集]メニューの[切り取り]を選択します。

または、キーボードから[Ctrl]+[X]キーを押します。

編集
取り消し Ctrl+Z
取り消しを戻す Ctrl+R
コピー Ctrl+C
切り取り Ctrl+X
貼り付け Ctrl+V
削除 Del
抽出 Ctrl+E
分割 Ctrl+T
整列 Ctrl+A
環境設定

2 映像をクリップボードにコピーするには、作業領域から映像を選択して、[編集]メニューの[コピー]を選択します。

または、キーボードから[Ctrl]+[C]キーを押します。コピーした映像の名前は、元の映像名の後に「のコピー」が付いた名前になります。

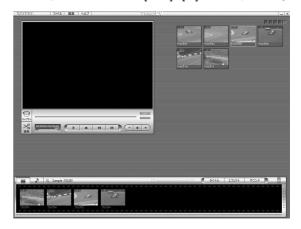
3 クリップボードの映像を作業領域に移すには、[編集]メニューの[貼り付け]を選択します。

または、キーボードから[Ctrl]+[V]キーを押します。

映像の整列(Ctrl+A)

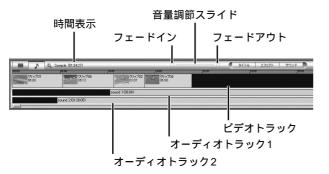
編集作業中､映像が作業領域に散らばってしまったときには、整列機能を使って映像をきれいに配置することができます。

1 [編集]メニューの[整列]を選択します。

または、キーボードから[Ctrl]+[A]キーを押します。

ストーリーウィンドウの切り替え

ストーリーウィンドウは、映像画面を表示するビデオモードの他に、サウンドトラックを一緒に表示するオーディオモードをサポートします。オーディオモードでは、ビデオモードより細かい映像編集ができます。

1 **ストーリーウィンドウの、左側の[オーディオモード]ボタンをクリックします。**
オーディオモードに切り替わります。

オーディオモードのストーリーウィンドウは次のとおりです。

オーディオモードから映像をトリミング

オーディオモードでも映像のトリミングができます。オーディオモードでの映像のトリミングは、不要な部分を削除して長さを短くするだけでなく、伸ばすこともできます。

1 **ビデオトラックからトリミングする映像をクリックして選択します。**

2 **選択された映像のスタート部分かエンド部分にマウスカーソルを移動します。**
カーソルの形が ◀━▶ に変わります。

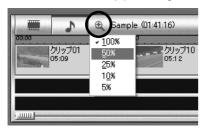
3 **マウスでドラッグしながら、映像の長さを調節できます。**
このとき、元々キャプチャされていた映像の長さが赤い四角に表示されます。長さの調節はこの赤い四角の領域を超えることはできません。

4 **ボタンから手を離すと調節された長さが反映されます。**

オーディオモードでは映像トリミングの他、サウンド編集および音量調節も可能です。詳細は 5「サウンド編集」を参照してください。(☞ 31 ページ)

ストーリーウィンドウのズーム

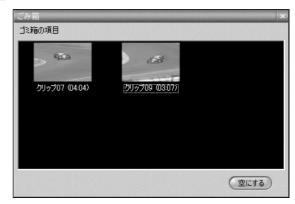
倍率調節オーディオモードから映像を編集する時、プロジェクトに映像が多いと目的の映像を探すのが困難になります。この場合は、ストーリーウィンドウのズーム倍率を調節することによって、全体プロジェクトを一度に見ることができます。

1 ストーリーウィンドウ上段のアイコンをクリックしメニューを開きます。

2 希望の倍率を選択します。

ごみ箱の掃除

削除した映像は、ごみ箱に移されます。映像をハードディスクから完全に削除するには、「ごみ箱を空にする」機能を使います。

1 ストーリーウィンドウの右側にある[ごみ箱]アイコンをクリックします。

2 【ごみ箱】ダイアログが表示されます。

3 映像を完全に削除する場合は、[空にする]ボタンをクリックします。

または、[ファイル]メニューの[ごみ箱掃除]を選択します。

5 サウンド編集

TideoDVで編集した映像のサウンドを編集しましょう。TideoDVは音楽CDから録音したサウンドや、マイクで録音した音を取り込めます。

サウンド録音ダイアログ

ダイナミックなビデオを制作するには、デジタルビデオカメラで撮影した映像の他にも背景音楽や効果音、ナレーションなどのサウンドが必要となります。TideoDVはパソコンに内蔵されているCD-ROMドライブとサウンドカード、マイクを利用してサウンドをより手軽に録音できます。

1 **ストーリーウィンドウの右側にある[サウンド]ボタンをクリックします。**

2 **【サウンド】ダイアログが表示されます。**

- [サウンド]ダイアログを開く際、音楽CDプレイヤー、MP3プレイヤー、Windowsの内蔵サウンドレコーダーなどが実行されていると、サウンド録音機能が作動しない場合があります。TideoDVを起動する前に、システムのサウンドカードやCD-ROMドライブを使用する、他のプログラムを終了してください。
- TideoDVを実行中にCD-ROMドライブに音楽CDを入れるとWindowsに登録されたCD再生プログラムが自動的に実行される場合があります。この場合TideoDVからサウンドを録音できないことがありますので、CD再生プログラムを終了してください。

CDおよびマイク操作

【サウンド】ダイアログには音楽CDを再生できる機能があります。

1 **【サウンド】ダイアログから[CD]ボタンをクリックします。**

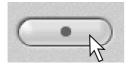
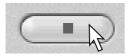
2 **CDの操作ボタンを使用して、音楽CDを操作します。**

CD-ROMドライブに音楽CDが入ってなかったり、ドライブが開かれていると、CDの操作ボタンはグレー色に表示され、使用できません。

CD-ROMドライブが開いている、CD-ROMドライブにCDが入っていない、音楽CD以外のCD-ROMが入っている場合は、[CD]ボタンをクリックしても作動しません。

サウンド録音

1 **音楽 CD から録音する場合は、[CD]ボタン→[再生]ボタンの順にクリックして、音楽を再生します。**

2 **録音したい位置で[スタート]ボタンをクリックします。**
音楽が録音され、録音された時間が表示されます。

3 **[ストップ]ボタンをクリックすると、録音は終了します。**

4 **サウンドを保存するダイアログボックスが表示されます。**

5 **サウンドの名前を入力して[OK]ボタンをクリックします。**

6 **録音が完了すると、左側のサウンドリストに新しく録音したサウンドが追加されます。**

マイクで録音する場合は、[CD]ボタンの代わりに[マイク]ボタン→[スタート]ボタンの順にクリックして録音します。あとは音楽 CD の録音と同じ手順です。

サウンドインポート

直接録音する方法のほかに WAVE 形式のサウンドファイルをインポートして、サウンドリストに追加することができます。

1 **サウンドダイアログ右側下段の[インポート]ボタンをクリックします。**

2 **【ファイルを開く】ダイアログから希望の WAVE ファイルを選択した後、[開く]ボタンをクリックします。**

次の場合は、インポートをすることができません。
- **選択したファイルが WAVE ファイルではない。**
- **ファイルが損傷している。**
- **PCM 形式の WAVE ファイルでない。**
- **1 秒以内の短いサウンドファイル。**

3 **サウンド名を入力するダイアログボックスが表示されます。**

4 **名前を入力して[OK]ボタンをクリックします。**

5 **サウンドが変換されてサウンドリストに追加されます。**

サウンド再生

録音したサウンドは、再生して聞くことができます。

1 サウンドリストから任意のサウンドを選択して[再生]ボタンをクリックします。
または、サウンドリストからサウンドをダブルクリックします。

2 サウンド再生のダイアログボックスが表示されます。

3 サウンド再生ボタンをクリックしてサウンドを聞くことができます。

4 再生バーのアイコンをドラッグすると、任意の位置から再生が可能になります。

5 【再生】ダイアログを閉じる場合は、[OK]ボタンをクリックします。

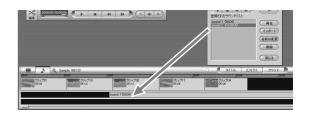
ストーリーウィンドウにサウンド挿入

録音したサウンドをストーリーウィンドウに挿入することができます。

1 ストーリーウィンドウをオーディオモードに切り替えます。

2 【サウンド】ダイアログのサウンドリストから、任意のサウンドを選択して、ストーリーウィンドウのサウンドトラックにドラッグします。

3 希望の位置でドロップします。

注 意

・すでにサウンドトラックに入っているサウンドと重ねてサウンドの挿入はできません。サウンドトラックが 2 つあるので、別々のサウンドトラックに配置してください。
・希望する位置にサウンドがドロップされないときは、ストーリーウィンドウを前後にスクロールして、重なっているサウンドがあるか確認してください。

サウンド編集

ストーリーウィンドウに挿入されたサウンドの位置を変えたり、他のトラックに移したりすることができます。

1 ストーリーウィンドウから調節したいサウンドをクリックして選択します。

2 移動したい場合は、サウンドをドラッグして好みの位置に移します。
同じトラックの中で位置を変えることも、他のトラックに移すこともできます。

3 サウンドを削除する場合は、キーボードから[Delete]キーを押します。

step 2
TideoDV でデジタルビデオを編集する

サウンドのトリミング

ストーリーウィンドウのサウンドは、長さを調節してトリミングすることができます。

1 サウンドトラックからトリミングするサウンドをクリックして選択します。

2 サウンドの両端の部分にマウスカーソルを移動します。
カーソルが ◀━▶ に変わります。

3 マウスでドラッグします。
このとき、サウンドの録音されているもとの長さが、赤い領域で表示されます。

4 任意の長さに調節して、ボタンを離します。

音量の調節

映像およびサウンドの音量を調節することができます。

1 ストーリーウィンドウをオーディオモードに切り替えます。

2 音量を調節する映像、またはサウンドをクリックして選択します。

3 ストーリーウィンドウの上側中央の音量調節スライドをドラッグして、音量を調節します。

[フェードイン]ボタン　[フェードアウト]ボタン

4 サウンドには、「フェードイン」と「フェードアウト」効果を適用することができます。
音量調節スライドの両側にある[フェードイン]ボタンと[フェードアウト]ボタンをクリックします。

6 エフェクト編集

エフェクト機能で映像に「効果」を与えて、本格的に映像をつないでみましょう。

エフェクトダイアログ

カット編集とサウンド編集が終わると、基本的なビデオ編集は完了します。この後、場面切り替えエフェクトを適用すると、よりダイナミックなビデオを製作することができます。

1 ストーリーウィンドウの右側にある[エフェクト]ボタンをクリックします。

2 【エフェクト】ダイアログが表示されます。

エフェクトの種類

TideoDV には、さまざまな場面切り替えエフェクトがあります。例えば、次のようなエフェクトがかけられます。

・フェードイン

・フェードアウト

・フェードアウト後フェードイン

・ディゾルブ

・ワイプ(上/下/左/右)

・スライド(上/下/左/右)

・プッシュ(上/下/左/右)

・リベール(上/下/左/右)

エフェクトプレビュー

映像にエフェクトを適用します。

1 **ストーリーウィンドウからエフェクトを入れる映像を選択します。**
エフェクトは、選択した映像とそのすぐ前の映像に適用されます。

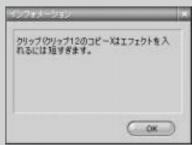
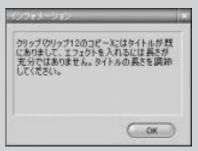
注意

映像を選択しないと、【エフェクト】ダイアログの[プレビュー]ボタンと、[適用]ボタンが作動しません。
また、すでにエフェクトが適用されている映像は、[エフェクト]アイコンを選択しても作動しません。詳細は次の「エフェクト削除/修正」を参照してください。**(☞ 37 ページ)**

2 **エフェクトリストから好みのエフェクトを選択します。**

3 **「ワイプ」のような方向があるエフェクトの場合は、[方向]ボタンをクリックします。**

注意

- **エフェクトを入れようとする前後の映像が短い場合には、あまり長いエフェクトを入れられません。この場合、次のようなダイアログボックスが表示されます。**

- **エフェクトを入れようとする前や、後の映像にタイトルが含まれていて、そのはじめと終わりの部分がエフェクトと重なる場合には、エフェクトを入れることができません。エフェクト、またはタイトルの長さを調節して、重ならないようにしてください。この場合、次のようなダイアログボックスが表示されます。**

4 **長さ調節スライドをドラッグして、エフェクトの長さを調節します。**

5 **[プレビュー]ボタンをクリックすると、モニターウィンドウにエフェクトされた映像が再生されます。**

注意

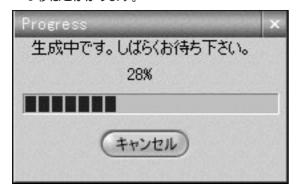
エフェクトプレビュー機能はエフェクトを実際に適用する前に、簡単にプレビューする機能です。エフェクトプレビューでは、エフェクトがスムーズに表示できない場合があります。

エフェクト適用

選択したエフェクトを適用するには、次の手順で行います。

1 **前ページの手順 1 から 5 の操作の後、【エフェクト】ダイアログの[適用]ボタンをクリックします。**

2 **次のようなダイアログボックスが表示されて、レンダリングを開始します。**

レンダリングは、1 秒のエフェクトに対して、約 3 〜 5 秒ほどかかります。

3 **レンダリングが終了すると、ストーリーにエフェクトアイコンが挿入されます。**

エフェクト削除/修正

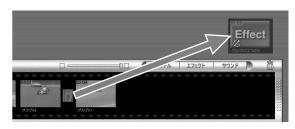
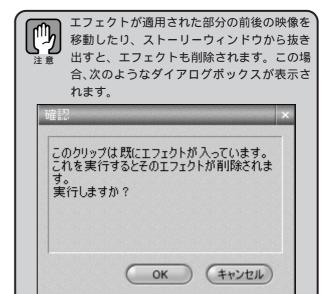
適用したエフェクトは、いつでも削除が可能です。エフェクトの種類や長さを変える場合、前もって適用したエフェクトを削除した後、新しいエフェクトを適用します。適用したエフェクトを削除する場合は、次の手順で行います。

1 **削除するエフェクトアイコンをクリックします。**

2 **キーボードの[Delete]キーを押します。**

または、エフェクトアイコンをドラッグしてごみ箱にドラッグアンドドロップします。

注意

エフェクトが適用された部分の前後の映像を移動したり、ストーリーウィンドウから抜き出すと、エフェクトも削除されます。この場合、次のようなダイアログボックスが表示されます。

7 タイトル編集

編集した映像にタイトルやエンディングクレジットを挿入します。

タイトルダイアログ

制作したビデオにさまざまなタイトルを挿入することができます。

1 **ストーリーウィンドウの右側にある[タイトル]ボタンをクリックします。**

2 **【タイトル】ダイアログが表示されます。**

タイトルの種類

TideoDV にはさまざまなタイトル形式があります。基本的に提供されるタイトルの種類は次の通りです。

● **中央揃え：タイトルテキストが画面中央に表示されます。**

タイトルテキスト

● **下段中央揃え：タイトルテキストが画面下段中央に表示されます。**

タイトルテキスト

● **下段中央揃え(ボックス付)：タイトルテキストが画面下段に表示されます。ボックス内の背景は、半透明に表示されます。**

タイトルテキスト

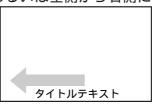
● **下段左揃え(ボックス付)：タイトルテキストが左側に整列されて、半透明の背景が表示されます。**

タイトルテキスト

● **中央揃えスクロール：タイトルテキストが中央整列されて上下にスクロールされます。スクロールは下から上に、あるいは上から下にすることができます。**

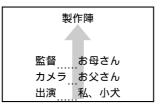
タイトルテキスト
テキスト
テキスト

● **右揃えスクロール：タイトルテキストが右側整列されて上下にスクロールされます。スクロールは下から上に、あるいは上から下にすることができます。**

● **下段左右スクロール：タイトルテキスト画面下段から左右にスクロールされます。スクロールは右側から左側に、あるいは左側から右側にすることができます。**

タイトルテキスト

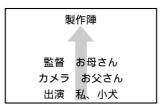
● **エンディング・クレジット(点線)：映画が終わるとき表示される最後の字幕と同じように、登場人物、撮影者、編集者の名前などを入れることができます。タイトルテキストの途中、半角文字の「¦」を入れると単語を両端に分離して、中を点線で埋めます。スクロールは下から上に、あるいは上から下にすることができます。**

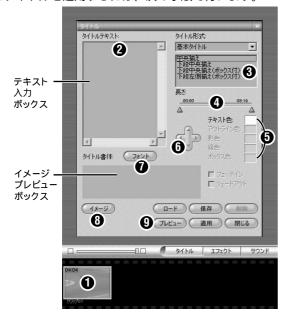
製作陣

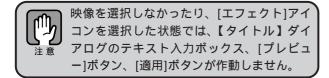
監督¦お母さん
カメラ¦お父さん
出演¦私、小犬

・「¦」のない列は中間整列されます。
・「¦テキスト 」と書くとテキストが左側整列されます。
・「 テキスト¦」と書くとテキストが右側整列されます。

● **エンディング・クレジット(中央揃え)：半角文字の「¦」を入力すれば画面中央を基準に両方に文字を配置します。**

製作陣

監督¦お母さん
カメラ¦お父さん
出演¦私、小犬

タイトルプレビュー

映像にタイトルを適用するには、次の手順で行います。

1 **ストーリーウィンドウの中からタイトルを入れる映像を選択します。**

映像を選択しなかったり、[エフェクト]アイコンを選択した状態では、【タイトル】ダイアログのテキスト入力ボックス、[プレビュー]ボタン、[適用]ボタンが作動しません。

2 **テキスト入力ボックス内でクリックし、タイトル文字を入力します。**

3 **タイトルリストから任意のタイトルを選択します。**

4 **長さ調節スライドをドラッグして、タイトルの長さを調節します。**

5 **タイトルやアウトラインの色を変えるには、それぞれの色ボタンをクリックし、色選択ダイアログボックスから、希望する色を選択します。**

6 **方向のあるタイトルの場合には、好みの方向ボタンをクリックします。**

7 **[フォント]ボタンをクリックして、【フォント】ダイアログボックスから、希望するフォントを選択します。**

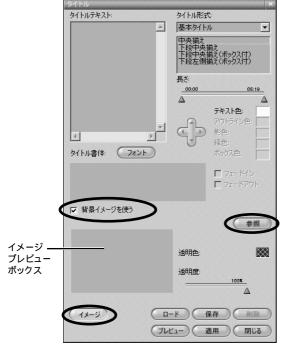
または、イメージプレビューボックスをクリックしても【フォント】ダイアログボックスは開きます。

8 **画像を背景イメージとして挿入できます。**
詳しくは、次の「タイトルにイメージを入れる」を参照してください。

9 **[プレビュー]ボタンをクリックすると、モニターウィンドウからタイトルの挿入された映像が再生されます。**

タイトルにイメージを入れる

任意の画像をタイトルイメージとして利用できます。タイトルにイメージを入れるには、次の手順で行います。

1 **[イメージ]ボタンをクリックします。**

2 **「背景イメージを使う」にチェックマークを入れます。**

3 **[参照]ボタンをクリックして、使用するイメージファイルを選択します。**
イメージはBMPとJPEGファイルが選択可能です。

4 **左側下段にあるイメージプレビューボックス内で、イメージの大きさと位置を調節できます。**
位置はイメージを定めてドラックしたら変えることができ、大きさはイメージの端にマウスカーソルを持っていきドラックすれば、変えることができます。

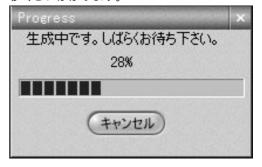
5 **イメージファイルで使用されている色の一部を透明色に指定したり、イメージ全体の透明度を指定できます。**

タイトル適用

選択したタイトルを適用するには、次の手順で行います。

1 **タイトルを編集します。**

2 **【タイトル】ダイアログの[適用]ボタンをクリックします。**

3 **次のようなダイアログボックスが表示されて、レンダリングを開始します。**
レンダリングは、1秒のタイトルに対して約3～5秒ぐらいかかります。

4 **レンダリングが終了すると、ストーリーウィンドウの映像にタイトルアイコンが表示され、タイトルが追加されます。**

タイトル修正/削除

適用したタイトルを修正/削除するには、次の手順で行います。

1 **タイトルを修正/削除しようとする映像をクリックします。**

2 **[タイトル]ボタンをクリックして、【タイトル】ダイアログボックスを開きます。**

3 **タイトルを修正するには、新しいタイトルを入力した後、[適用]ボタンをクリックします。**

4 **タイトルを削除するには、[削除]ボタンをクリックします。**

注意

タイトルを適用した映像をストーリーから取り出すと、タイトルが削除されます。この場合、次のような警告メッセージが表示されます。

8 録　画

編集した映像は、デジタルビデオ機器で録画することができます。

編集作業終了後、完成した映像をもう一度ビデオ機器に録画することができます。次の手順で行います。

1 **デジタルビデオ機器を接続して、電源を入れます。**

デジタルビデオカメラの場合、カメラモードに設定されていると録画ができません。ビデオモードに切り換えてください。

2 **デジタルビデオ機器の制御ボタンを利用して、録画したい位置までテープを巻戻します。**

3 **[ファイル]メニューの[録画]を選択します。**

4 **録画時、映像の前に黒のカラークリップを挿入できます。**

5 **「デジタルビデオ機器に直接録画します。」オプションを選択します。**

映像ファイルをデジタルビデオ機器に直接伝送します。

録画するときは、まずオーディオデータを生成して、デジタルビデオ機器に直接録画します。この方法は一般的に推奨されている方式ですが、処理速度が遅いパソコンでは映像データの伝送が不完全になり、オーディオやビデオが途切れることがあります。
このオプションがチェックされていない場合には、ビデオデータを生成する過程が追加されます。
この場合、録画する前にまず編集した映像ファイルを組合わせてひとつの大きな映像ファイルを作った後、これを伝送します。この作業は速度が遅くなり(編集した映像全体の長さの2倍程度の時間が必要)、ハードディスクの残り容量も充分必要です。
また、映像ファイルを作らなければならないので15分以上の長いプロジェクトを録画することができません。
データが全て生成されると自動的にデジタルビデオ機器を録画モードに変えて映像を記録し始めます。

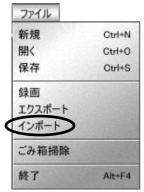
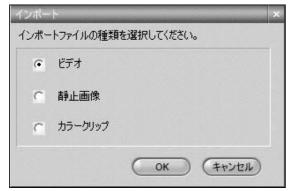
6 **[スタート]ボタンをクリックすると、録画を開始します。**

9 インポートとエクスポート

外部の映像ファイルを TideoDV のプロジェクトに取り込んで(インポート)編集できます。また、編集した映像をムービーファイルとして出力(エクスポート)できます。

インポートの手順

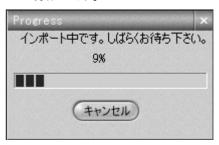
インポートできる映像ファイルは、AVI、MPEG-1、MPEG-2、ASF、QuickTime 形式です。
インターネットからダウンロードしたビデオや、テレビからキャプチャしたテレビ番組の場面を利用して、多彩な映像編集ができます。インポートは次の手順で行います。

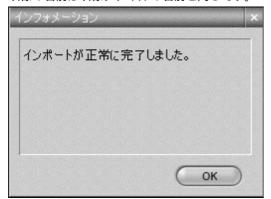
1 [ファイル]メニューの[インポート]を選択します。

2 インポートするファイルの種類を選択します。

3 【ファイルを開く】ダイアログで、インポートしたい映像ファイルを選択します。

4 [開く]をクリックします。

5 次のようなダイアログボックスが表示されて、インポートを開始します。

インポートの所要時間は 1 分の映像ファイルに対して約 4 ～ 5 分ほどです。

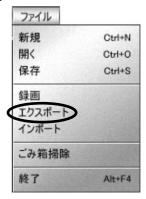
指定したファイルが、インポートできない映像ファイル形式の場合や、インポートが失敗した場合は次のようなエラーメッセージが表示されます。

6 インポートが完了すると次のメッセージが表示され、クリップに映像が作られます。

映像の名前は映像ファイルの名前と同じです。

インポートした映像ファイルはデジタルビデオ機器からキャプチャした映像と同じAVIファイル形式でプロジェクトフォルダに保存されます。大きな映像ファイルをインポートする場合は、ハードディスク容量が多く必要になるので、ハードディスクの残り容量が十分かどうかを確認してください。

エクスポートの手順

完成されたビデオをMPEGまたは、AVIフォーマットの動画ファイルに変換することができます。動画ファイルは、インターネットホームページにアップロードしたり、電子メールで送ったり、CD-ROMに保存することが可能です。次の手順で行います。

1 エクスポートしたい映像を選択します。

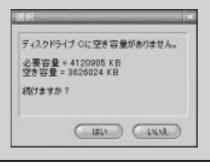
2 [ファイル]メニューの[エクスポート]を選択します。

3 【エクスポート】ダイアログから、変換するファイルフォーマットを選択します。

4 ファイルの名前を入力します。

初期設定で、エクスポートする画像は[マイ ドキュメント]→[My Videos]に保存されます。[参照]ボタンをクリックして、任意の場所を指定して保存することもできます。

5 **[スタート]ボタンをクリックすると、エクスポートを開始します。**

ファイル変換中は、進行時間と予想所要時間が表示されます。

エクスポートする前に、残り容量の不足が予想されると、次のようなダイアログボックスが表示されます。この場合は、ハードディスクをまずクリーンアップして容量を増やすか、保存先のドライブを変更してください。

6 **Media Player を実行して動画を再生するかどうかを訪ねるダイアログボックスが表示されます。**

変換したファイルは、Windows Media Player で再生することができます。

MPEG-2 形式ファイルの場合、Media Player で再生できない場合もあります。この場合は、TideoDVD などの MPEG-2 形式ファイルが再生可能なプログラムで確認してください。

7 **[はい]ボタンをクリックすると、Windows Media Player が起動し、エクスポートした画像が再生されます。**

ファイルフォーマットの特性は、以下のとおりです。

エクスポート形式	ファイル容量	説　明
MPEG-4 AVI 360x240	2.2Mbps 約17MB/分	マイクロソフト社のMPEG-4コデックを使用するAVIフォーマットの動画です。比較的小さなサイズに適度な画質の映像を生成します。
Indeo AVI 360x240	4.7Mbps 約35MB/分	インテル社のIndeoコデックを使用する、AVIフォーマットの動画です。サイズは若干大きいですが画質が優れています。
DV AVI 720x480 高画質	27Mbps 約210MB/分	編集に使用するDVフォーマットをそのままセーブします。一番高画質ですが、ハードディスク容量を多く占めます。
MPEG-1 176x120 Web	200Kbps 約1.5MB/分	1/4 サイズの MPEG-1フォーマットの動画です。インターネットホームページにアップしたりE-mailで送ったりするのに適した小さなサイズのファイルを生成します。
MPEG-1 352x240 ビデオ CD	1.3Mbps 約10MB/分	ビデオCD画質に相当するMPEG-1フォーマットの動画です。比較的小さなサイズに適度な画質の映像を生成します。
MPEG-1 352x240 高画質	2.4Mbps 約18MB/分	高画質のMPEG-1フォーマットの動画です。サイズは若干大きいですが画質が優れています。
MPEG-2 720x480 高画質	6Mbps 約45MB/分	標準MPEG-2フォーマットの動画です。フルサイズの画面に大変優れた画質の映像を見ることができます。

10 TideoDVのインストールとアンインストール

TideoDVのインストールとアンインストールについて説明します。

TideoDVのインストール

TideoDVはパソコンの出荷時にインストールされているので、再度インストールする必要はありませんが、システムアップグレードなどでTideoDVを再インストールするときに参照してください。

1 Tideo CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

2 「TideoDVをインストールする。」を選択すると、次のような画面が表示されます。

アドバイス

[スタート]メニューから、TideoDVを直接実行することもできます。[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択した後、「D:\TideoDV\setup.exe」と入力して[OK]ボタンをクリックします。CD-ROMドライブの名前がE:の場合は、D:のかわりにE:と入力します。

3 しばらくすると、インストールプログラムのメイン画面が表示されます。

4 [次へ]ボタンをクリックすると、フォルダ選択画面に移ります。

5 フォルダ選択画面でTideoDVをインストールするフォルダを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

TideoDVは、初期設定で「C:\Program Files\Sotec\TideoDV」フォルダにインストールされます。

6 他のフォルダにインストールしたい場合には、[参照]ボタンをクリックして、フォルダを選択します。

step 2 TideoDVでデジタルビデオを編集する

7 セットアップタイプを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

● 「サンプルプロジェクトとプログラムをインストールします。」を選択すると、TideoDV プログラムと、約 20 秒のサンプルプロジェクトをインストールします。
サンプルプロジェクトのファイル名は「C:\Program Files\Sotec\TideoDV\Sample\Sample.DVP」です。

● 「プログラムだけインストールします。」を選択すると TideoDV の実行に必要なプログラムファイルだけをインストールします。

TideoDV プログラムだけをインストールする場合には約 30MB、プログラムとサンプルプロジェクトをインストールする場合は、約 150MB のハードディスク容量が必要です。

8 TideoDV アイコンを配置するプログラムグループを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

初期値では、[プログラム]→[Sotec]→[TideoDV]になります。

9 インストールに必要なすべての設定が終了したら、ファイルのコピーを開始します。

ファイルをコピーするときにかかる時間は、コンピュータの仕様によって違いますが、約 2 ～ 5 分です。

**・Windows98 Second Edition の場合は、DirectX Media ランタイムモジュールをインストールします。
Windows Me と Windows2000 の場合は、この過程が省略されます。**

Installing runtime support components...

・Windows98 Second Edition の場合は、Windows98 アップデートをインストールします。

このようなダイアログボックスが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。Windows Me と Windows 2000 では、この過程は省略されます。

10 インストール終了後、ダイアログボックスから「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択します。

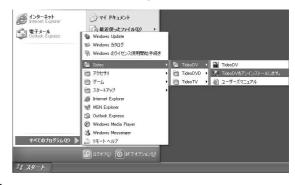
TideoDV を使用するにはシステムを再起動する必要があります。もし TideoDV をすぐに使用せず、他の作業を進行したい場合には、後で再起動をしても結構です。

Windows98 Second Edition では TideoDV をインストールした後、デジタルビデオ機器を接続して電源を入れると次のようなメッセージが表示される場合があります。[はい]ボタンをクリックしてください。このメッセージは最初の接続時に一回のみ発生して、その後は表示されません。

11 [完了]ボタンをクリックして、インストールを終了します。

TideoDV のアンインストール

TideoDV をシステムから削除する際には、次のような手順で行います。

1 [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Sotec]→[TideoDV]→[TideoDV をアンインストールします。]の順に選択します。

2 TideoDV のアンインストールを実行するかを確認するダイアログが表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。

3 アンインストールを準備する画面が表示された後、アンインストールを開始します。

4 アンインストールの終了後、[OK]ボタンをクリックします。

Step3
TideoDVD を使用する

TideoDVD は、DVD・ビデオ CD・オーディオ CD を再生することができます。さらに AVI ファイル、QuickTime ファイル、MPEG ファイル形式の各種映像ファイルを再生したり、MP3 ファイル、WAV ファイル、MIDI ファイルの各種音楽ファイルを再生することもできます。

1 DMAの設定方法

Windows XPをご利用の方は、次の手順でDVDドライブの転送モードを「DMA」に変更します。

1 [スタート]ボタン→[コントロールパネル]の順に選択します。

2 [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックします。

3 「コンピュータの基本的な情報を表示する」項目をクリックします。

4 システムプロパティの[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

5 [IDE ATA/ATAPIコントローラ]項目をダブルクリックして内容を表示させます。

6 DVDドライブ装置が接続されているIDEチャンネル（プライマリ、セカンダリ）をダブルクリックし、[詳細設定]タブをクリックします。

ご利用の環境により、DVDドライブが接続されているIDEチャネルは異なります。

7 「転送モード」を「DMA（利用可能な場合）」に設定します。

8 [OK]ボタンをクリックします。

Windows95/98、Meをお使いの場合、[デバイスマネージャ]タブから[ディスクドライブ]の項目を選択してください。Windows2000の場合は、WindowsXPと同様です。

2 ソフトウェアの構成

TideoDVD は、「スクリーン」と「操作パネル」の 2 つのコンポーネントで構成されています。

スクリーン

DVD/VideoCD/映像ファイルなどの映像コンテンツを画面表示します。

操作パネル

DVD/VideoCD/AudioCD/映像･音楽ファイルの再生、停止などを操作するコントローラです。

スタンダードモード

拡張モード

アドバイス

スクリーンの一番下の枠をクリックすると、操作パネルを隠すことができます。もう一度クリックすると操作パネルが開きます。

3 再生方法

TideoDVD でディスクメディア(DVD、ビデオ CD、オーディオ CD)を再生する方法を説明します。

ディスクメディアの再生

TideoDVD でディスクメディア(DVD、ビデオ CD、オーディオ CD)を再生します。

1 **TideoDVD を起動します。**

2 **再生するメディア(DVD、ビデオ CD、オーディオ CD)をドライブ装置にセットします。**

3 **TideoDVD の操作パネルから[再生]ボタンをクリックします。**

[環境設定]→[全般]→[メディア確認後自動再生]を設定すると、TideoDVD を起動しなくても、メディアを挿入すれば自動的に再生されます。

映像ファイル/音楽ファイルの再生

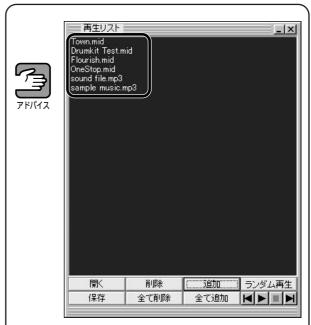
TideoDVD は、次の形式の映像ファイル/音楽ファイルが再生できます。

映像ファイル	Aviファイル(*.avi) QuickTimeファイル(*.mov, *.qt) MPEGファイル(*.mpe, *.m1v, *.m2v, *.mpg, *.dat, *.mpeg, *.vob, *.mps)
音楽ファイル	Mp3ファイル(*.mp3) Wavファイル(*.wav) Midiファイル(*.mid)

1 **TideoDVD の操作パネルから[プレイリスト]ボタンをクリックします。**

2 **【再生リスト】ダイアログが表示されます。**

3 **【再生リスト】ダイアログ下側の[追加]ボタンまたは、[全て追加]ボタンをクリックして、再生する映像ファイル、音楽ファイルを再生リストに登録します。**

アドバイス

- **[追加]ボタン**
  ファイルを指定するためのダイアログボックスが表示されます。
  表示されたダイアログで映像または、音楽ファイルを指定して、[開く]ボタンをクリックすると、プレイリストにファイルが登録されます。
- **[全て追加]ボタン**
  フォルダを指定するためのダイアログボックスが表示されます。
  表示されたダイアログからフォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックすると、指定したフォルダ内の全ての再生可能なファイルがプレイリストに登録されます。

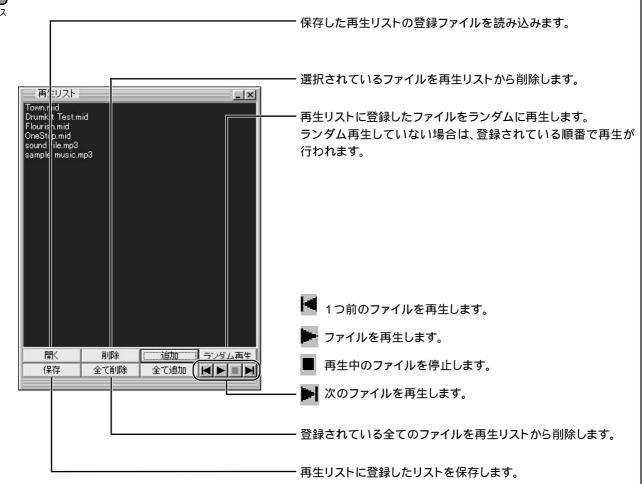
4 **【再生リスト】ダイアログの[再生]ボタンをクリックします。**

または、操作パネルの[再生]ボタンをクリックします。

[再生リスト]ダイアログのボタンについて

[追加]、[全て追加]以外のボタンの機能は次の通りです。

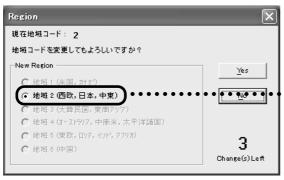
アドバイス

- 開く：保存した再生リストの登録ファイルを読み込みます。
- 削除：選択されているファイルを再生リストから削除します。
- ランダム再生：再生リストに登録したファイルをランダムに再生します。ランダム再生していない場合は、登録されている順番で再生が行われます。
- 1つ前のファイルを再生します。
- ファイルを再生します。
- 再生中のファイルを停止します。
- 次のファイルを再生します。
- 全て削除：登録されている全てのファイルを再生リストから削除します。
- 保存：再生リストに登録したリストを保存します。

4 地域コード(Region)について

DVD の映画タイトルは、「地域コード」によって保護されています。この地域コードについて説明します。

DVD の映画タイトルは、ほとんどの場合「地域コード」によって保護されています。

●地域コードで保護された DVD タイトルは、DVD プレイヤー(TideoDVD)、DVD タイトルの 2 つ(フェーズ 2 以降の DVD ドライブ装置の場合は、ドライブ装置を含めた 3 つ)の地域コードが一致していないと、見ることはできません。

●弊社製品は、リージョン 2 およびリージョンフリーの DVD タイトルをサポートします。
これ以外の地域コードが記載されている DVD タイトルはご利用をお控えください。

再生するDVDタイトルの地域コードに合わせて変更します。

TideoDVD は基本的に 5 回まで地域コードを変更できますが、次の点にご注意ください。
- **地域コードの変更回数は、消去すると元に戻せません。地域コードの変更は慎重に行ってください。**
- **地域コードを 5 回変更すると、最後に変更した地域コードに固定されます。**
- **使用する DVD ドライブが RPC Type-2 規格の場合には、DVD ドライブ側で定られた回数分、地域コードを変更できます。**

5 操作パネルについて

操作パネルの名称と機能について説明します。

瞬間移動バー
再生中のコンテンツの経過を表しています。この部分のつまみを左右にドラッグすることにより、任意の部分にジャンプして再生することができます。

基本操作ボタン
DVD/ビデオCD/オーディオCDや映像·音楽ファイルの再生、停止、早送り、巻戻しなどのTideoDVDの基本操作を行うために使用するボタンです。

1 **再生(Enter)**
DVD/ビデオ CD/オーディオ CD/再生リストで指定した映像・音楽ファイルの再生を開始します。

再生をスタートすると［再生］ボタンは［一時停止］ボタンに切り替わります。

2 **一時停止(Space)**
コンテンツ(DVD/ビデオ CD/オーディオ CD/映像･音楽ファイル)の再生を一時停止します。(再生を再開する場合は、[再生]ボタンをクリックします。)

3 **停止(Esc)**
コンテンツ(DVD/ビデオ CD/オーディオ CD/映像･音楽ファイル)の再生を停止します。

4 **巻戻し(Ctrl＋←)**

●このボタンを左クリックすると、[2 倍速巻戻し再生]→[4 倍速巻戻し再生]→[8 倍速巻戻し再生]の順で再生速度が切り替わります。

●このボタンを右クリックすると、巻戻しの再生速度を指定する次のメニューが表示されます。

2 倍速巻戻し再生
標準再生の 2 倍の速度で逆再生されます。

4 倍速巻戻し再生
標準再生の 4 倍の速度で逆再生されます。

8 倍速巻戻し再生
標準再生の 8 倍の速度で逆再生されます。

ビデオ CD や映像ファイルの再生時は、10 秒前の場面から再生されます。
・巻戻し中、音声は出力されません。
・ビデオ CD や映像ファイルでは、上記のメニューは表示されません。

5 **早送り(Ctrl ＋→)**

●このボタンを左クリックすると、[2 倍速早送り再生]→[4 倍速早送り再生]→[8 倍速早送り再生]の順で再生速度が切り替わります。

●このボタンを右クリックすると、再生速度を指定する次のメニューが表示されます。

メニュー	説明
>> 1/8 X	**1/8 スロー再生** 標準再生の 8 分の 1 の速度で再生されます。
>> 1/4 X	**1/4 スロー再生** 標準再生の 4 分の 1 の速度で再生されます。
>> 1/2 X	**1/2 スロー再生** 標準再生の 2 分の 1 の速度で再生されます。
>> 2 X ②	**2 倍速早送り再生** 標準再生の 2 倍の速度で再生されます。
>> 4 X ④	**4 倍速早送り再生** 標準再生の 4 倍の速度で再生されます。
>> 8 X ⑧	**8 倍速早送り再生** 標準再生の 8 倍の速度で再生されます。

アドバイス

・ビデオ CD や映像ファイルの再生時は、「2 倍速早送り再生」になります。
・早送り中、音声は出力されません。(DVD の再生時)
・ビデオ CD と映像ファイルの再生時、上記のメニューは表示されません。

6 **コマ送り**

[一時停止]ボタンを押したあと、一コマづつ移動します。

7 **レジューム**

[停止]ボタンをクリックして、DVD の再生を終了すると、停止位置が[ブックマーク]に登録されます。

アドバイス

DVD の再生時に[レジューム]ボタンをクリックすると、前回の停止位置から再生することができます。

注 意

・DVD の再生を開始してもオープニング(製作会社のロゴが表示される映像)の再生中は、[レジューム]ボタンを利用することはできません。オープニングが終了して、本編の再生が開始されると、[レジューム]ボタンが有効になます。
・DVD によっては、レジューム機能が正常に働かない場合があります。

8 **前のトラック(PageDown)**

１つ前のチャプター(章)を再生します。

9 **次のトラック(PageUp)**

次のチャプター(章)を再生します。

10 **終了(Alt ＋ X)**

TideoDVD を終了します。

11 **イジェクト**

DVD/CD-ROM ドライブ装置のトレイを開閉します。

12 **DVD/ビデオ CD モード**

TideoDVD を DVD/ビデオ CD/オーディオ CD などのディスクメディアの再生モードに切り替えます。
ドライブ装置に DVD、ビデオ CD、オーディオ CD がセットされている場合は、再生が開始されます。

13 **プレイリスト**

再生するファイルを選択するためのダイアログボックスが表示されます。

14 **音声切換(DVD の再生中のみ操作できます。)**

●このボタンを左クリックすると、出力される音声が順次切り替わります。

●このボタンを右クリックすると、音声を切り替えるショートカットメニューが表示されます。
(メニューに表示される音声の数や内容は DVD タイトルによって異なります。)

✔ Audio 1
Audio 2
── 出力する音声を指定します。

15 **字幕切換(DVD の再生中のみ操作できます。)**

●このボタンを左クリックすると、表示する字幕の言語が切り替わります。

注 意

この機能はマルチ字幕に対応した DVD タイトルで利用できます。

●このボタンを右クリックすると、字幕の切り換えや字幕の表示/非表示を指定するためのメニューが表示されます。(メニューに表示される字幕の数や内容はDVDタイトルによって異なります。)

Japanese (Caption with normal size character)
English (Caption with normal size character)
Japanese (Caption with normal size character)
● Japanese (Caption with normal size character)
English (Caption with normal size character)
Japanese (Caption with normal size character)
None

スクリーンに表示する字幕を指定します。

字幕の表示/非表示を切り替えます。

DVDタイトルに収録されている字幕メニューによって、字幕の切り替えが異なります。

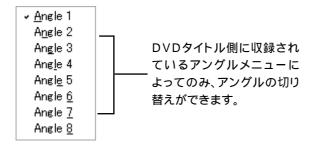
16 アングルの変更(DVDの再生中のみ操作できます。)

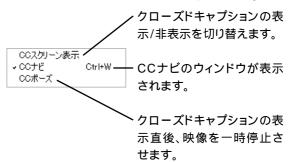
●このボタンを左クリックすると、アングルの設定が順次切り替わります。

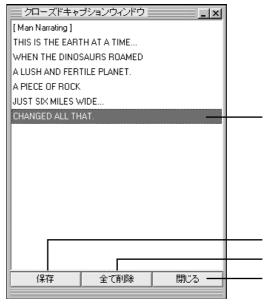
この機能はマルチアングルに対応したDVDタイトルで利用できます。

●このボタンを右クリックすると、アングルの切り替えを行うためのメニューが表示されます。
(メニューに表示される字幕の数や内容はDVDタイトルによって異なります。)

17 クローズドキャプション(CC)のON/OFF (DVDの再生中のみ操作できます。)

●このボタンを左クリックすると、クローズドキャプションの表示/非表示を切り替えます。

この機能はクローズドキャプションに対応したDVDタイトルで利用できます。

●このボタンを右クリックすると、クローズドキャプションのオプションメニューが表示されます。

CCナビウィンドウの構成

クローズドキャプションのオプションメニューから[CCナビ]を選択すると、次のダイアログボックスが表示されます。

①取り込まれたキャプションをクリックすると、キャプションに対応するシーンにジャンプして再生が行われます。

②CCナビに取り込まれたキャプションをテキスト形式ファイルに保存します。

③CCナビに取り込まれたキャプションを全て削除します。

④CCナビのウィンドウを閉じます。

18 ブラウザ

ブラウザは、再生中にタイトルの任意の位置にブックマーク(しおり)を記録する機能です。詳しくは8「ブックマーク機能」を参照してください。
(☞71ページ)

19 **A-B リピート設定/解除**

任意に設定した 2 箇所(A 点、B 点)の間隔を繰り返し再生する機能です。詳しくは 8「A-B リピート機能」を参照してください。(☞72 ページ)

20 **音声録音**

再生中の DVD のオーディオ出力を WAVE 形式でファイルに録音します。詳しくは 8「音声録音機能」を参照してください。(☞73 ページ)

21 **スクリーンキャプチャ**
(DVD の再生中のみ操作できます。)

スクリーンの映像を、イメージデータとして取り込んで任意のファイルに保存したり、壁紙として設定することができます。

●各種映像コンテンツの再生中にこのボタンをクリックすると、ボタンをクリックした瞬間のスクリーンの映像がイメージデータとして取り込まれます。

注 意

・DVD によっては、イメージの縦横比が再生時の状態と変わる場合があります。
・キャプチャした静止画のデータは個人で楽しむ以外、各オリジナルコンテンツの著作権者に無断で使用することは法律で禁じられています。

●このボタンを右クリックすると、キャプチャ後のイメージデータの処理方法を指定するショートカットメニューが表示されます。

●ファイルへ保存(D) ―― ①
名前を付けて保存(A) ―― ②
壁紙-中央に表示(C) ―― ③
壁紙-並べて表示(T) ―― ④
壁紙-拡大(S) ―― ⑤
クリップボードに転送 ―― ⑥

①キャプチャしたイメージをデフォルトパスに保存します。

②キャプチャしたイメージを名前を付けてファイルに保存します。

③キャプチャしたイメージをデスクトップ中央に壁紙として設定します。

④キャプチャしたイメージを並べて壁紙に設定します。

⑤キャプチャしたイメージを拡大して壁紙に設定します。

⑥キャプチャしたイメージをクリップボードに転送します。

22 **ズーム**

再生中の映像の任意部分をスクリーンに拡大化して再生する機能です。詳しくは 8「ズーム機能」を参照してください。(☞73 ページ)

23 **リピート**

リピートモード(繰り返しなし/チャプターの繰り返し/タイトルの繰り返し)を切り替えます。

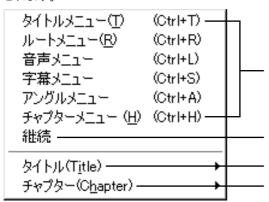
繰り返しなし	繰り返しを再生しません。
チャプターの繰り返し	再生中のチャプター(章)を繰り返し再生します。
タイトルの繰り返し	再生中のタイトルを繰り返し再生します。

アドバイス

設定内容は、操作パネルのディスプレイ上に表示されます。

24 **ナビゲーションメニュー**
(DVD の再生中のみ操作できます)

●このボタンを左クリックすると、DVD に収録されているタイトルメニューが表示されます。

●このボタンを右クリックすると、DVD に収録されている各メニューを呼び出すため選択メニューが表示されます。

①DVD 側に収録されている各メニューを呼び出してスクリーンに表示します。(DVD 側に対応するメニューが収録されていない場合は、グレー表示されて選択することはできません。)

②スクリーンに表示されたメニューを終了して、DVD の再生を継続します。

③表示されるサブメニューから任意にタイトルを選択すると、指定したタイトルから再生が開始されます。

④表示されるサブメニューから任意にチャプターを選択すると、指定したチャプターから再生が開始されます。

- **この機能はマルチ音声に対応した DVD で利用できます。**
- **DVD 側に収録されている音声メニューによってのみ、音声の切り替えができます。**

25 **ボリューム減少(Ctrl + ↓)**
音声の出力を小さくします。

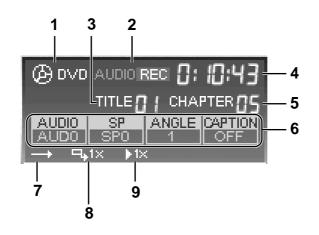
26 **ミュート(Ctrl + M)**
音声を消去します。

このボタンを再度クリックすると、音声が出力されるようになります。

27 **ボリューム増加(Ctrl + ↑)**
音声の出力を大きくします。

28 **環境設定**
環境設定を行うためのダイアログボックスが表示されます。各プロパティは、ダイアログ上部のタブをクリックして、切り替えます。詳しくは 7「環境設定」を参照してください。(☞66 ページ)

6 ディスプレイパネルについて

ディスプレイパネルに表示される情報について説明します。

1　メディア

TideoDVDで指定されている再生モードまたは、再生中のコンテンツの情報が表示されます。

●DVDの再生モード時または、DVDの再生中は DVD が表示されます。

●ビデオCDの再生モード時または、ビデオCDの再生中は VCD が表示されます。

●オーディオCDの再生モード時または、オーディオCDの再生中は ACD が表示されます。

●ファイルの再生モード時または、ファイルの再生中は FILE が表示されます。

2　音声録音(DVD再生中のみ表示されます。)

DVD再生中に音声録音を行っているときに、AUDIO REC が表示されます。

3　タイトル

再生中のDVDのタイトル番号が表示されます。

4　時間

再生経過時間または、残りの再生時間が表示されます。

5　チャプター

再生中のDVDのチャプター番号が表示されます。

6　DVD情報

TideoDVDで設定されているDVDの情報が表示されます。

①再生中のDVDの音声を表します。

②再生中のDVDの字幕を表します。
字幕が非表示に設定されている場合は消灯します。

③再生中のDVDのアングルを表します。

④クローズドキャプションのON/OFFを表します。

7 **リピートモード**

指定されているリピートモードの設定を表示します。
操作パネルの をクリックすると、
[繰り返しなし]
[チャプターの繰り返し]
[タイトルの繰り返し]
の順番で表示されます。

8 **画面サイズ**

指定されている画面サイズを表します。
画面内を右クリックして希望のサイズを選択します。
[マニュアル]
[オート１倍]
[フルスクリーン]

9 **再生速度**

再生速度が表示されます。
表示される再生速度は次の通りです。

2x	2倍速巻戻し再生時
4x	4倍速巻戻し再生時
8x	8倍速巻戻し再生時
1/2	1/2スロー再生時
1/4	1/4スロー再生時
1/8	1/8スロー再生時
2x	2倍速早送り再生時
4x	4倍速早送り再生時
8x	8倍速早送り再生時

通常再生時は、 1x が表示されます。

7 環境設定

TideoDVD の環境設定のしかたについて説明します。操作パネル内の[設定]ボタンをクリックして環境設定を行います。

全般プロパティ

■ドライブ
TideoDVD で使用する DVD ドライブまたは、CD-ROM ドライブを設定します。[▼]ボタンをクリックして、TideoDVD で使用するドライブを指定します。

■メディア確認後、自動再生する
このオプションが有効になっている場合、ドライブ装置にメディア(DVD/ビデオ CD/オーディオ CD)をセットすると、自動的に再生が開始されます。

■スクリーンの縦横比を維持する
このオプションが有効になっている場合、スクリーンを縦方向に拡大/縮小すると同時に、横方向へも拡大/縮小して、アスペクト比率(4 ： 3、16 ： 9)を常に維持します。

■停止時に確認メッセージを表示する
操作パネルの[停止]ボタンをクリックすると、再生中のコンテンツの停止を確認するメッセージが表示されます。
メッセージボックスの[はい]ボタンをクリックすると再生を停止します。

■フルスクリーンで再生する
このオプションが有効になっている場合、タイトルの再生を開始すると、画面サイズの設定が自動的にフルスクリーンの設定になります。

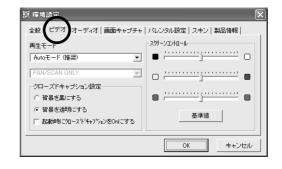
■コントロールパネルの位置を保存
このオプションが有効になっている場合、コントロールパネルの位置を記憶して、いつも同じ位置に表示するようにします。

■ 4 ： 3 ファイル再生
このオプションが有効になっている場合、ファイル再生時画面の縦横比を 4 ： 3 で維持します。

■再生時にスクリーンセーバーを動作可にする
このオプションが有効になっている場合、Windows で設定されているスクリーンセーバーが動作可能になります。

■再生時にモニタの電源管理を有効にする
このオプションが有効になっている場合、Windows で設定されている省電力モードなどの電源に関係する動作が可能になります。

■ IME を隠す
このオプションが有効になっている場合、フルスクリーンで再生するとき、日本語入力IME(Input Method Editor)ウィンドウを非表示にします。

ビデオプロパティ

■再生モード
DVD のテレビ用信号(インターレース)をコンピュータのモニターに表示できる信号(ノンインターレース)へ変換する方式を設定します。
TideoDVD は、信号の変換方法に Weave と Bob の 2 種類の技術を使用しています。

Autoモード(推奨)	常に最適な状態で画像が出力できるようにDVDタイトルの信号を判断して、WeaveとBobの各モードを自動的に切り替えます。 Weaveまたは、Bobのモード切替時に画面の表示が一瞬乱れることがあります。 画面の乱れが気になる場合は、Weaveモードまたは、Bobモードを設定してください。
Weaveモード	テレビ用信号の奇数走査線、偶数走査線の両方を使って、1フレームを出力するため、オリジナルの美しい映像が表示できますが、フレーム数が少ないために画面切替が多い場面や動きの激しい場面では、コーミング(横縞状のノイズ)が発生しやすくなります。 フィルム素材(映画など)をDVD化した作品に適しています。
Bobモード	テレビ用信号の奇数走査線、偶数走査線を垂直方向に2倍に拡大して1フレームを出力するため、フルフレーム再生が可能で画面切替が多い場面や動きの激しい場面でもコマ落ちすることなく再生できます。ただし、映像信号を2倍に拡大しているためにジャギー(輪郭などに発生するギザギザ)が目立つようになります。 ビデオ素材(アニメやTV番組)をDVD化した作品に適しています。

アドバイス

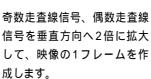
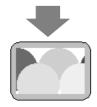
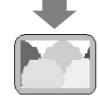
CPUの処理速度や、グラフィックカードの性能によっても映像の品質は左右されます。

実際の映像をご覧になって、お好みの再生モードを設定してください。

Weaveモードの再生イメージ

奇数走査線信号と偶数走査線信号を合成して、映像の1フレームを作成します。

Bobモードの再生イメージ

奇数走査線信号、偶数走査線信号を垂直方向へ2倍に拡大して、映像の1フレームを作成します。

■画面比率

16：9の画面比率に設定されたオーディオデータを、パソコンのモニターに合わせて4：3の比率に表示するには、次の2つの方法があります。

● LETTERBOX
16：9画面比率を維持しながら、画面の上下に黒い帯を表示します。ワイド映像をそのまま見ることができるので映画鑑賞に適しています。

● PAN/SCAN
16：9画面の一部分だけを4：3画面に変更して表示します。(画面の左右を切り離して表示させます。)

LETTERBOX ONLY	オーディオデータがLETTERBOX ONLYモードに設定されている場合には、LETTERBOXモードだけで再生が可能で、このオプションを選ぶことはできません。
PAN/SCAN ONLY	オーディオデータがPAN/SCAN ONLYモードに設定されている場合には、PAN/SCANモードだけで再生が可能で、このオプションを選ぶことはできません。
LETTERBOXまたはPAN/SCAN	オーディオデータが二つのモードで設定されている場合には、どちらかを選ぶことができます。
4：3	DVDタイトルが4：3画面比率に設定されている場合には、もともとの画面比率で再生され、このオプションを選択することができません。

■クローズドキャプション設定

クローズドキャプションの表示方法についての設定を行います。

背景を黒にする	クローズドキャプションの文字の背景色が黒色になります。
背景を透明にする	クローズドキャプションの文字の背景色が透明になります。
起動時にクローズドキャプションをOnにする	このオプションを有効にしておくと、TideoDVDの起動時にクローズドキャプションを表示するように設定します。

■スクリーンコントロール

スクリーンに表示される映像の明るさや色合い(赤色、緑色、青色)を調整します。各調節は、スライダーのつまみを左右にドラッグして設定します。

アドバイス

[基準値]ボタンをクリックすると、TideoDVDの導入時の初期状態に戻すことができます。

オーディオプロパティ

■オーディオチャンネル

出力される音質は各設定によってそれぞれ異なりますので、実際に聞きくらべて、お好みのサウンドを設定してください。

スピーカ

ステレオ：DVDの2チャンネル分のサウンドを原音のまま出力します。

ドルビーサラウンド
：DVDのすべてのオーディオチャンネルを2チャンネル化(ダウンミックス)してサウンドを出力します。

SPDIF

サウンドカードに搭載されているS/PDIF出力端子を使用してサウンドを出力する場合に指定します。

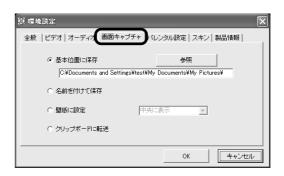
AC3ブーストアップ

このオプションを有効にすると、DVDのサウンドを増幅して出力します。

■カラオケモード

DVDカラオケ再生時のボーカル音声の出力有無を設定します。

ボーカルなし	ボーカルの音声出力をオフにします。
ボーカル1	ボーカル1の音声出力をオンにします。(ボーカル2の音声出力はオフになります。)
ボーカル2	ボーカル2の音声出力をオンにします。(ボーカル1の音声出力はオフになります。)
全ボーカル	ボーカル1、ボーカル2両方の音声出力をオンにします。

画面キャプチャプロパティ

■キャプチャモード

をクリックした時のキャプチャしたイメージの取り扱いについて設定します。

基本位置に保存 (デフォルトパス)	キャプチャしたイメージを指定したパスに自動的にファイル名を付けて保存します。 保存するファイル名は「Capture01.bmp」、「Capture02.bmp」、「Capture03.bmp」…のようなファイル名で自動的に保存されます。 [参照]ボタンをクリックして、任意のフォルダ内にキャプチャ画面を保存することができます。
名前を付けて保存	キャプチャしたイメージに名前を付けてファイルへ保存します。 をクリックすると、ファイル名、ファイルの保存先を指定するためのダイアログボックスが表示されます。
壁紙に設定	キャプチャしたイメージを壁紙に設定します。 壁紙の設定方法は、以下の3種類より選択できます。 **中央に表示**:キャプチャしたイメージをデスクトップ中央に壁紙として設定します。 **並べて表示**:キャプチャしたイメージを並べて壁紙に設定します。 **拡大**:キャプチャしたイメージを拡大して壁紙に設定します。
クリップボードに転送	キャプチャしたイメージをクリップボードへコピーします。

パレンタル設定プロパティ

■パレンタルコントロール

映像及び音声の内容が視聴者に適切なものかを DVD に設定されたパレンタルレベル(視聴制限レベル)を使って判断し、暴力シーンやアダルトコンテンツなどを子供などに視聴できないようにパスワードを設定する機能です。

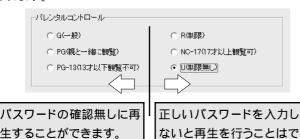
注意

・この機能はパレンタルレベルを持つ DVD で有効です。
・子供などの視聴に適さないコンテンツであっても、パレンタルレベルが設定されていない DVD では、パスワードの確認なしに再生されます。

G(一般)	全ての年齢に適しています。
PG (親と一緒に閲覧)	内容の一部が子供に適さないため、親の注意が必要です。
PG-13 (13才以下観覧不可)	内容の一部が13歳以下の子供に適さないため、親の注意が必要です。
R (制限)	17歳未満の未成年者は、親または成年者と鑑賞できます。
NC-17 (17才以上観覧)	17歳未満の未成年者は鑑賞できません。
U(制限無し)	ランクが設定されていないため、制限がありません。

パレンタルレベル設定後の動作について

パレンタルレベルを設定した場合、次のように視聴制限が行われます。

パスワードの確認無しに再生することができます。

正しいパスワードを入力しないと再生を行うことはできません。

レベル設定方法

TideoDVD で設定したパレンタルレベルより、DVD タイトルに設定されているパレンタルレベルが高い場合、警告メッセージが表示されます。

1 **[環境設定]の[パレンタル設定]から、該当レベルを選択します。**

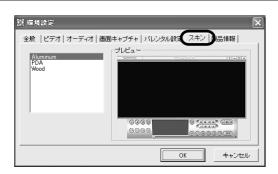
2 **パスワードを確認する画面が表示されます。**

3 **パスワードを入力して[OK]ボタンを押します。**

4 **[環境設定]の[OK]ボタンを押します。**

アドバイス

設定したパスワードは、プロパティの[パスワードの変更]ボタンをクリックして、変更することができます。

スキンプロパティ

■操作パネルの選択
TideoDVD の操作パネルのデザインを変更します。
TideoDVD には、次の 3 種類の操作パネルが用意されており、左のリストボックスからイメージファイルをクリックして、お好みの操作パネルを設定することができます。

（Aluminum）

（PDA）

（Wood）

製品情報プロパティ

弊社、サポートサービスをご利用時にサポート担当者が TideoDVD のバージョンをお聞きする場合があります。
その場合は、このプロパティに表示される製品情報の内容をお答えください。

8 ショートカットメニュー

スクリーン上でマウスの右ボタンをクリックすると、操作パネルの各機能をメニュー化したショートカットメニューが表示され、TideoDVD の機能を実行することができます。

TideoDVD 2.1	
フルスクリーン(F)	Ctrl+F
オート1倍(1)	Ctrl+U
マニュアル(N)	Ctrl+N
再生 (P)	Enter
一時停止(U)	Space
停止(O)	Esc
前のトラック(V)	PgDn
次のトラック(Q)	PgUp
早送り(D)	Ctrl+Right ▸
巻戻し(W)	Ctrl+Left ▸
コマ送り(J)	F12
タイトルメニュー(T)	Ctrl+T
ナビゲーションメニュー(R)	Ctrl+R
レジューム	
タイトル(I)	▸
チャプター(H)	▸
音声(A)	▸
字幕(S)	▸
アングル(G)	▸
クローズドキャプション(C)	▸
ブックマーク(M)	▸
A-Bリピート A設定	Ctrl+Q
ズーム イン	Z
パンスキャン	Ctrl+P
スクリーンキャプチャ (E)	Ctrl+C
音声録音	Ctrl+E
操作パネルの表示(B)	Ctrl+B
終了(X)	Alt+X

スクリーン上でマウスの右ボタンをクリックすると、操作パネルの各機能をメニュー化したショートカットメニューが表示されます。
TideoDVD のほとんどの機能を実行することができます。

アドバイス

- **ブックマーク機能と、パンスキャン機能は、ショートカットメニューからのみ実行可能です。**
- **操作パネル内で右クリックすると、次のようなショートカットメニューが表示されます。**

TideoDVD 2.1	
DVD / ビデオCD モード(D)	Ctrl+D
プレイリスト(F)	
設定	F2
ヘルプ (H)	F1
テクニカルサポート(T)	
バージョン情報(A)	
終了(X)	Alt+X

ブックマーク機能

ブックマークは、再生中タイトルの任意の位置にブックマーク(しおり)を記録する機能です。
再生時に、記録したブックマークを指定することにより、続きから再生することができます。
記録されたブックマークは、タイトルごとに情報が保持されますので、異なるタイトル間でブックマークが混在することはありません。

注意

DVD タイトルによっては、ブックマーク機能が正常に働かない場合があります。

■ブックマークを登録する

1 **DVD を再生します。**

2 **ブックマークを記録したいシーンで、スクリーン上を右クリックし、ショートカットメニューから[ブックマーク]→[追加]の順に選択します。**

3 **ブックマークが登録されます。**

■ブックマークを実行する

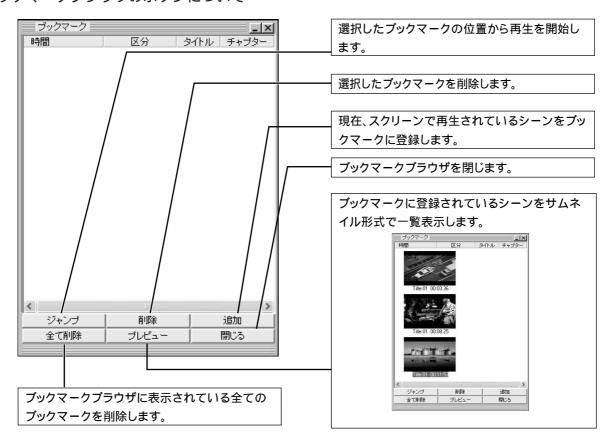
1 **DVD を再生します。**

2 **スクリーン上で右クリックし、ショートカットメニューから[ブックマーク]→[ブラウザ]の順に選択します。**

3 **記録したブックマークを一覧表示するダイアログボックスが表示されます。**

4 **ダイアログボックスに表示された一覧からブックマークを選択して、[ジャンプ]ボタンをクリックします。**

5 **ブックマークされたシーンが再生されます。**

■ブックマークブラウザのボタンについて

A-B リピート機能

任意に設定した 2 箇所(A 点、B 点)の間隔を繰り返し再生する機能です。

1 **DVD を再生します。**

2 **リピートの起点となる位置で、スクリーン上を右クリックし、ショートカットメニューから[A-B リピート A 設定]を選択します。**

3 **瞬間移動バーに A 点を表す赤いマークが表示されます。**

4 **リピートの終点となる位置で、スクリーン上を右クリックし、ショートカットメニューから[A-B リピート B 設定]を選択します。**

5 **瞬間移動バーに B 点を表す 2 つ目の赤いマークが表示されます。**

6 **終点(B 点)の指定後は、A 点から B 点間が繰り返し再生されます。**

ショートカットメニューから[A-B リピート解除]を選択すると、設定を解除することができます。

ズームイン機能

再生中の映像の任意部分をスクリーンに拡大して再生する機能です。

1 **DVD を再生します。**

2 **スクリーン上で右クリックして、ショートカットメニューから[ズーム]を選択します。**

3 **マウスカーソルが から に変わります。**

4 **拡大したい映像部分の左上を起点として、マウスの左ボタンをクリックした状態で、右下方向にマウスを移動します。**

5 **マウスのボタンから手を離します。**

6 **範囲指定された部分の映像が自動的に拡大されてスクリーンに表示されます。**

パンスキャン機能

パンスキャンは、映画館やワイドテレビ向けのコンテンツ(アスペクト比 16 ： 9)をパソコン用のモニタ(アスペクト比 4 ： 3)の画面いっぱいに映像を表示するための機能です。

1 **「フルスクリーン」の画面サイズで DVD を再生します。**

2 **スクリーン上で右クリックし、ショートカットメニューから[パンスキャン]を選択します。**

3 **上下の黒帯部分が取り除かれて画面いっぱいに映像が表示されるようになります。**

パンスキャンを実行

アドバイス

パンスキャン機能は、画面サイズが「フルスクリーン」になっている場合に利用できます。

- **パンスキャンモード時は、スクリーン上の映像を右または、左方向にドラッグすると、カットされた左右部分の映像をいつでも画面に表示することができます。**
- **DVD タイトルによっては、パンスキャン機能が正常に働かない場合があります。**

音声録音機能

再生中の DVD タイトルのオーディオ出力を WAVE 形式でファイルに録音します。

注 意

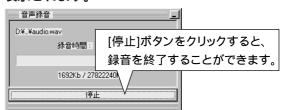
WAVE 形式による録音は非圧縮方式のため、1 分程度の録音に約 10MB の容量が必要です。

1 **DVD を再生します。**

2 **音声録音の開始位置でスクリーン上を右クリックし、ショートカットメニューから[音声録音]を選択します。**

3 **録音するファイル名、保存先の設定を行うためのダイアログボックスが表示されます。**

4 **録音するファイル名、保存するドライブ、保存するフォルダなどを設定して、[保存]ボタンをクリックします。**

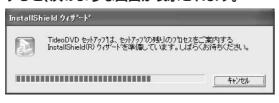
5 **録音中は、画面に次のダイアログボックスが表示されます。**

9 TideoDVD のインストールとアンインストール

TideoDVD のインストールとアンインストールについて説明します。

TideoDVD のインストール

TideoDVD はパソコンの出荷時にインストールされているので、再度インストールする必要はありませんが、システムアップグレードなどで TideoDVD を再インストールするときに参照してください。

1 **Tideo CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。**

2 **「TideoDVD をインストールする。」を選択すると、次のような画面が表示されます。**

[スタート]メニューから、TideoDVD を直接実行することもできます。[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択した後、「D:\TideoDVD\setup.exe」と入力して[OK]ボタンをクリックします。CD-ROM ドライブの名前が E:の場合は、D:のかわりに E:と入力します。

3 **しばらくすると、インストールプログラムのメイン画面が表示されます。**

4 **[次へ]ボタンをクリックすると、フォルダ選択画面に移ります。**

5 **フォルダ選択画面で TideoDVD をインストールするフォルダを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。**

TideoDVD は、初期設定で「C:\Program Files\Sotec\TideoDVD」フォルダにインストールされます。

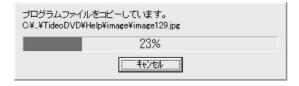
6 **他のフォルダにインストールしたい場合には、[参照]ボタンをクリックして、フォルダを選択します。**

step 3 TideoDVD を使用する

7 TideoDVD アイコンを配置するプログラムグループを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

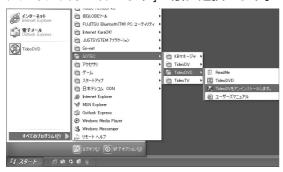
初期設定で、[プログラム]→[Sotec]→[TideoDVD]に保存されます。

8 インストールに必要なすべての設定が終了したら、ファイルのコピーを開始します。

ファイルをコピーするのにかかる時間は、コンピュータの仕様によって違いますが、約 2 ～ 5 分です。

9 [完了]ボタンをクリックして、TideoDVD のインストールを終了します。

TideoDVD のアンインストール

TideoDVD をシステムから削除するときには、次のような手順で行います。

1 **[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Sotec]→[TideoDVD]→[TideoDVD をアンインストールします]の順に選択します。**

2 **TideoDVD のアンインストールを実行するかを確認するダイアログが表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。**

3 **アンインストールを準備する画面が表示された後、アンインストールを開始します。**

4 **[完了]ボタンをクリックして、アンインストールを終了します。**

10 トラブルシューティング

TideoDVD が正常に動作しないときは、サポートセンタに連絡する前に、この章を参照してください。

ディスクメディアが再生できない

■ドライブ装置に、DVD/ビデオ CD/オーディオ CD のメディアがセットされているか確認してください。

■ TideoDVD の環境設定で、ドライブ装置の設定が正しいか確認してください。

複数のドライブ装置を使用している場合や、仮想 CD 化ソフトウェアを導入している場合は、DVD ドライブ装置が TideoDVD で使用するドライブに設定されていない場合があります。(7「環境設定」の「全般プロパティ」参照 ☞66 ページ)

■ドライブ装置が Windows で正しく認識されているか確認してください。

Windows 95／98／Meの確認手順	Windows 2000の確認手順	Windows XPの確認手順
① [スタート] ボタンをクリック ② [設定] を選択 ③ [コントロールパネル] を選択 ④ [システム]アイコンをダブルクリック ⑤ [デバイスマネージャ]タブをクリック ⑥ [CD-ROM]をダブルクリック	① [スタート]ボタンをクリック ② [設定(S)]を選択 ③ [コントロールパネル(C)]を選択 ④ [システム]アイコンをダブルクリック ⑤ [ハードウェア]タブをクリック ⑥ [デバイスマネージャ]ボタンをクリック ⑦[DVD/CD-ROM]をダブルクリック	①[スタート]ボタンをクリック ②[コントロールパネル]を選択 ③[パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリック ④「コンピュータの基本的な情報を表示する」項目をクリック ⑤システムプロパティの[ハードウェア]タブをクリック ⑥[デバイスマネージャ]ボタンをクリック ⑦[CD/DVD-ROM]をダブルクリック

上記の手順を実行した場合に、DVD-ROM ドライブ装置名が表示され、「×」または、「！」の記号が表示されていなければ、DVD ドライブ装置は正しく認識されています。

フィルターの構築に失敗

■ TideoDVD の動作に必要な条件を満たしているか確認します。

■色数(256 色または、6 万 5536 色)、解像度 1024 × 768 以下の画面設定に変更して確認します。

色数(256 色)、解像度(800 × 600)の画面設定でも問題が解決されない場合は、グラフィックカードまたは、グラフィックカードのドライバに問題があると考えられます。

■グラフィックカード、サウンドカードのドライバが最新のものか確認します。

ドライバについての情報や入手方法、導入方法は、ご利用になっているグラフィックカード、サウンドカードの各メーカーにお問い合わせください。

1 つ前のドライバにダウングレードすることで、この問題が解決する場合もあります。

■上記を確認しても問題が解決されない場合は、TideoDVD の動作に必要なファイルやモジュールが破損している可能性があります。

TideoDVD をアンインストールした後、再インストールしてください。

スムーズな再生ができない

■TideoDVD の動作に必要な条件を満たしているか確認します。

■DVD ドライブ装置の DMA 転送の設定が有効になっているか確認します。

Windows 95/98/Me の DMA 転送の設定方法については、製品に添付しているマニュアルをご覧ください。
Windows XP の DMA 転送の設定方法については、1「DMA の設定方法」を参照してください。
(☞ 54 ページ)

■常駐ソフトやウィルス駆除ソフトウェアが動作していないか確認します。

他のアプリケーションが動作していると、CPU パワーが分散されてしまい、TideoDVD の動作に必要な条件がクリアできないためにコマ落ちなどの現象が発生する場合があります。
TideoDVD をご利用になる場合は、他のソフトウェアが動作しないように常駐ソフトを終了しておくか、一時的に動作しないように設定しておく必要があります。

■再生モードの設定を変更しします。

TideoDVD では、「Weave」と「Bob」の 2 種類の再生技術を使用しています。
「Weave」モードでは、オリジナルに忠実な美しい映像再生を行うことができますが、動きの激しいシーンが連続する場面では、スムーズに再生できない
可能性があります。
一方、「Bob」モードは、「Weave」モードよりも映像品質が若干低下しますが、フルフレームによる再生が可能です。
現在、再生モードの設定が「Auto」または、「Weave」になっている場合は、「Bob」に設定を変更して確認してください。

DMA 転送の設定ができない

■マザーボードが非インテル系のチップセットを使用している場合、Windows 98/Me/2000/XP の標準ドライバでは対応できないためにこの現象が起こることがあります。

ハードウェアメーカやマザーボードベンダーから、DMA 転送をサポートしたチップセットのドライバをダウンロードしてインストールしてください。
ドライバについての情報や入手方法、導入方法は、ご利用になっているコンピュータの販売元やマザーボードベンダーにお問い合わせください。

■ご使用の DVD ドライブが SCSI 接続の場合は DMA の設定項目はありません。

DMA 転送の項目は、IDE 接続の DVD-ROM ドライブを使用している場合に表示されます。

TideoDVD は、Windows 2000/XP の環境でのみ、SCSI 接続による DVD-ROM ドライブをサポートしています。

その他

■TideoDVD は、DirectX の技術をサポートしており、現在使用中のグラフィックカード、サウンドカードが DirectX をサポートしていない場合に不具合が発生することがあります。

グラフィックカード、サウンドカードを交換する以外に解決できません。

Dxdiag(「C:\Program Files\DirectX\Setup」に格納)でグラフィックカード、サウンドカードの DirectX の対応テストを行うことができます。

■他社製の DVD ソフトウェアが導入されていると、不具合が発生する場合があります。

他社製の DVD ソフトウェアのアンインストール後に TideoDVD を実行してください。

Step4

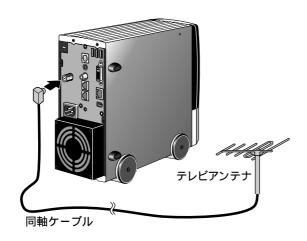
TideoTV で
テレビを見る

TideoTV は、TV チューナーカードを搭載したパソコンで番組を見たり、録画したり、またその録画した番組を再生することのできるソフトウェアです。
仕事の合間などにちょっと一息して TV を見るときは、わざわざパソコンの前から離れることなく、簡単に TV を見ることができます。

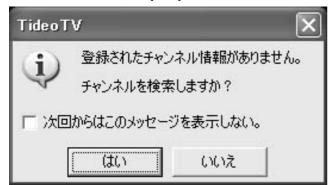
1 TideoTV でテレビを見るために

TideoTV を使うために、まず、次の設定を行ってください。

■ TV アンテナまたは、ケーブルの接続

パソコンのテレビアンテナ接続端子に、テレビアンテナのケーブルを接続します。接続方法については、パソコンに付属のマニュアルを参照してください。

※接続図は AFiNA PC を例に説明しています。

■チャンネルの登録

TideoTV を初めて起動すると、チャンネルを自動的に検索して登録するダイアログが表示されます。
自動検索をはじめる場合は[はい]ボタンをクリックします。

チャンネルを登録する場合は、5「環境設定」の「チャンネルプロパティ」を参照してください。(☞95 ページ)

■受信方式の規格と周波数の選択

画面内を右クリックし、[プログラム環境設定]→[チャンネル]タブから、受信方式の規格と周波数を選択します。初期設定で規格は「NTSC JAPAN」、周波数は「BROADCAST」に設定されています。

■ TV 音声の録音設定

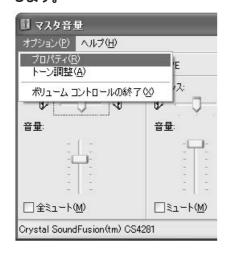
テレビを録画するときのテレビ音声の録音設定を行います。この設定をしないとテレビ音声は録音されません。

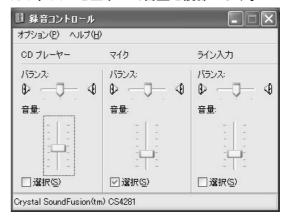
1 タスクバーのトレイにあるボリュームコントロールのアイコンをダブルクリックします。

タスクトレイにボリュームコントロールアイコンがない場合は、次の手順に従って表示させてください。(Windows XP の場合)

①[スタート]ボタン→[コントロールパネル]の順に選択します。
②[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]アイコン→「スピーカの設定を変更する」項目をクリックします。
③デバイスの音量エリアで、「タスクバーに音量アイコンを配置する」にチェックマークを入れます。

Windows95/98/Me の場合は、[コントロールパネル]→[マルチメディア]アイコンをクリックしてください。

2 [オプション]メニューの[プロパティ]を選択します。

3 音量の調整エリアの「録音」をチェックして[OK]ボタンをクリックします。

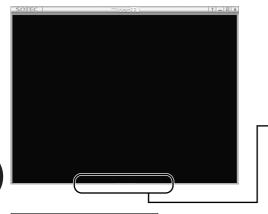
4 【録音コントロール】ダイアログが表示されたら、バーを上下して音量を調節します。

5 ☒ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

2 TideoTV の操作

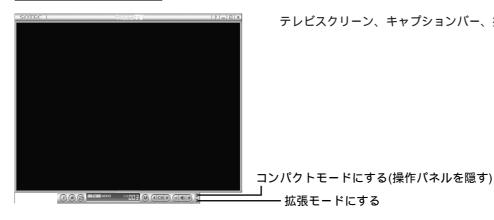
TideoTV は、メイン画面と操作パネルから構成されます。ここでは、これらの操作方法を説明します。

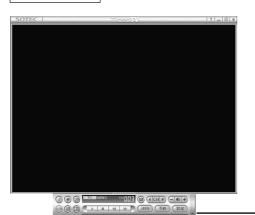
TideoTV の構成

初めて起動する際は、拡張モードに設定されています。

コンパクトモード

テレビスクリーンだけを表示します。

コンパクトモードから操作パネルを表示させるには、スクリーン枠の下段にある　　　　　　をクリックします。

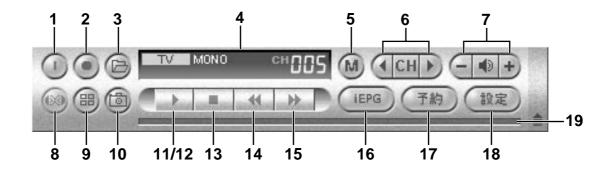
スタンダードモード

テレビスクリーン、キャプションバー、操作パネルを表示します。

拡張モード

テレビスクリーン、キャプションバー、拡大された操作パネルを表示します。

スクリーンと操作パネルを分離する場合は、操作パネルを移動させたい場所にドラッグアンドドロップします。

操作パネルの各部名称とはたらき

TideoTV の操作パネル上にあるボタンの機能を説明します。

1 終了
TideoTV を終了します。

2 録画
表示されているテレビ映像を録画します。録画中は、スクリーン上とディスプレイパネル上で「録画中」と表示されます。

アドバイス

- **録画をスタートすると、ボタンはに切り替わり、ボタンは、に切り替わります。録画中はチャンネルの変更ができません。**
- **録画に関しては、5「環境設定」の「録画プロパティ」を参照してください。(☞97ページ)**

3 ファイル再生
ファイル再生は、テレビ視聴中の場合、録画ファイルの再生を行い、テレビ録画中の場合、現在録画中のファイルをリプレイ再生(タイムシフト機能)します。

●テレビ視聴中
録画ファイルを選択して再生します。
録画ファイルの再生を停止してテレビを視聴する場合、ボタンをクリックします。

アドバイス

録画ファイルの再生中は、ボタンが、ボタンに切り替わります。

●テレビ録画中
テレビ録画を続けながら、録画中のファイルをリプレイ再生(タイムシフト機能)します。
リプレイ再生を停止して現在録画中のテレビを視聴する場合、ボタンをクリックします。

アドバイス

リプレイ再生(タイムシフト機能)中は、ボタンが、ボタンに切り替わります。

4 ディスプレイパネル

TideoTV で指定されている再生モード、または再生中の録画ファイルの情報が表示されます。

TV MONO CH005

アドバイス

ディスプレイパネルに関しては、2「ディスプレイパネルの各部名称」を参照してください。(☞86 ページ)

5 入力信号選択

スクリーンに表示する入力信号を切り替えます。ボタンをクリックするたびに、「TV → Video → S-Video → TV」の順番に変更されます。

6 チャンネル

テレビのチャンネルを切り替えます。なお、[環境設定]→[チャンネル]タブでチャンネルを登録していない場合、もしくはしている場合で、次のようになります。

●チャンネルが登録されていない場合

チャンネル(−)	現在のチャンネルより１つ下のチャンネルに切り替えます。
リターン	直前に視聴したチャンネルに切り替えます。
チャンネル(+)	現在のチャンネルより１つ上のチャンネルに切り替えます。

●チャンネルが登録されている場合

チャンネル(−)	登録されているチャンネルの中から、現在のチャンネルより１つ下のチャンネルに切り替えます。
リターン	直前に視聴した登録チャンネルに切り替えます。
チャンネル(+)	登録されているチャンネルの中から、現在のチャンネルより１つ上のチャンネルに切り替えます。

注 意

この機能は、入力信号が「TV」の場合だけ動作します。

アドバイス

チャンネルの登録に関しては、5「環境設定」の「チャンネルプロパティ」を参照してください。(☞95 ページ)

7 ボリューム

出力される音声のボリュームを調整します。

ボリューム減少	音声の出力を小さくします。
ミュート	音声を消去します。
ボリューム増加	音声の出力を大きくします。

アドバイス

再度ボタンをクリックすると、音声が出力されます。

8 音声選択

入力される音声により、次のような設定ができます。

●モノラル放送の場合

モノラル放送の場合、音声信号が左右同じ音で出力します。このとき、音声選択ボタンを使用することはできません。

●ステレオ放送の場合

ステレオ放送の場合、TideoTV は最初にステレオで音声を出力します。この後、ボタンをクリックするたびに、「モノラル→ステレオ→モノラル」の順番で選択できます。

●音声多重放送の場合

音声多重放送の場合、TideoTV は最初に主音声で音声を出力します。この後、ボタンをクリックするたびに、「副音声→主音声＋副音声→主音声」の順番で選択できます。

注 意

この機能は、TV チューナーボードがステレオ･音声多重放送に対応している場合のみ、各種設定を行うことができます。

9 マルチスクリーン

１つの画面に複数のチャンネルを同時に表示します。このとき、表示されるチャンネルは、[環境設定]→[チャンネル]タブで登録しているチャンネルになります。

注 意

マルチスクリーン表示中に、録画とキャプチャ保存はできません。

10 **スクリーンキャプチャ**
スクリーン上の映像をキャプチャします。キャプチャした静止画像は、BMP フォーマットのファイルに保存します。

アドバイス
スクリーンキャプチャに関しては、5「環境設定」の「画面プロパティ」を参照してください。(☞96 ページ)

11 **再生(リプレイ再生時、またはファイル再生時のみ操作できます。)**
リプレイ、または録画ファイルを再生します。

アドバイス
再生を始めると、ボタンはボタンに切り替わります。

12 **一時停止(リプレイ再生時、またはファイル再生時のみ操作できます。)**
リプレイ中、または再生中の録画ファイルを一時停止します。
再生を再開する場合は、ボタンをクリックします。

アドバイス
一時停止すると、ボタンはボタンに切り替わります。

13 **停止(リプレイ再生時、またはファイル再生時のみ操作できます。)**
リプレイ中、または再生中の録画ファイルを停止します。

14 **巻戻し(リプレイ再生時、またはファイル再生時のみ操作できます。)**
リプレイ中、または再生中の録画ファイルを、10 秒前の画面に巻き戻します。

15 **早送り(リプレイ再生時、またはファイル再生時のみ操作できます。)**
リプレイ中、または再生中の録画ファイルを早送りで再生します。

16 **iEPG(Internet Electronic Program Guide)**
OnTVJapan のホームページ
(http://www.ontvjapan.com/)を表示し、番組リストから録画予約の設定ができます。

アドバイス
iEPG に関しては、3「On TV Japan でテレビ番組を予約録画する」を参照してください。(☞89 ページ)

17 **予約管理**
テレビ放送の予約録画設定、および予約登録の内容を管理します。

アドバイス
予約管理に関しては、3「テレビ番組を予約録画する」を参照してください。(☞88 ページ)

18 **環境設定**
環境設定を行うためのダイアログボックスが表示されます。

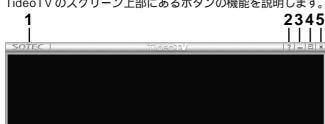
アドバイス
環境設定の細かい内容に関しては、5「環境設定」を参照してください。(☞95 ページ)

19 **瞬間移動(リプレイ再生時、またはファイル再生時のみ操作できます。)**
瞬間移動バーは、リプレイ再生時、もしくは録画ファイル再生時の経過を表しています。バーのつまみをドラッグすることで、任意の部分にジャンプして再生できます。

移動方法

A)上の絵の瞬間移動バーのつまみにマウスカーソルを移動します。(マウスカーソルが手の形に変わります。)
B)瞬間移動バーのつまみを左、右に動かすとお好みの位置から再生できます。

メイン画面の各部名称とはたらき

TideoTV のスクリーン上部にあるボタンの機能を説明します。

1 **ホームページへ移動**
SOTEC のホームページ(http://www.sotec.co.jp/)が表示されます。

2 **ヘルプ**
ヘルプが表示されます。

3 **最小化**
スクリーンと操作パネルが最小化されます。再び前のスクリーンの大きさに戻す場合は、ウィンドウズタスクバーの TideoTV アイコンをクリックします。

4 **フルスクリーン**
画面がフルスクリーン表示に変更され、操作パネルは見えなくなります。操作パネルをスクリーン上に表示する場合はマウスをクリックし、前のスクリーンの大きさに戻す場合は、マウスをダブルクリックします。

5 **終了**
TideoTV が終了します。

ディスプレイパネルの各部名称

●テレビ視聴/録画/リプレイ再生時

1 **入力信号表示**
TideoTV に現在入力されている信号を表示します。

TV 入力
Video 入力
S-Video 入力

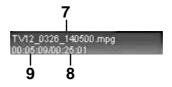
2 **入力音声表示**
TideoTV に現在入力されている音声を表示します。

3 **チャンネル表示**
TideoTV に現在入力されている信号のチャンネルを表示します。

4 **状態表示**
TideoTV で現在進行しているモードを表示します。
テレビ再生中は、何も表示しません。

5 **リプレイ再生可能時間表示**
TideoTV で現在リプレイ再生が可能な最大時間を表示します。

6 **録画/リプレイ再生時間表示**
TideoTV で現在録画しているファイルの合計時間、または現在リプレイ再生しているファイルの再生時間を表示します。

●ファイル再生時

7 **ファイル名表示**
TideoTV で現在再生しているファイルの名前を表示します。

8 **ファイル再生可能時間表示**
TideoTV で現在ファイル再生が可能な最大時間を表示します。

9 **ファイル再生時間表示**
TideoTV で現在再生しているファイルの再生時間を表示します。

3 テレビ番組を予約録画する

テレビ番組を予約して指定した時間に視聴したり、フォーマットを選んで番組を録画し、好きな時間に視聴したりすることができます。

テレビ番組を予約する

視聴したい番組のチャンネルと放送時間を設定します。

1 操作パネルを拡張し、[予約]ボタンをクリックします。

スクリーン上のメディアコントローラから、[TV]→[予約]を選択しても同じ操作を実行できます。

2 【予約】ダイアログボックスが表示されます。

3 [追加]ボタンをクリックします。

4 予約ウィザードが起動するので、チャンネルを設定します。

5 タイトルを入力します。

6 予約種類エリアで、「予約TV」をチェックします。

7 [次へ]ボタンをクリックします。

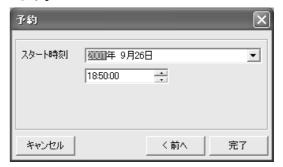
8 スタート時刻エリアで予約したい日を指定します。

[▼]ボタンをクリックし、年、月、日を選択します。カレンダーの[←][→]ボタンで年月を選択した後、日付を選択します。

アドバイス

年、月、日をマウスとキーボードを使って直接入力することもできます。年、月、日の数字をマウスでクリックし選択状態(数字が青色に変わります)にしてから入力します。キーボードの[↑][↓]キーを使うと数字を増減できます。

9 スタート時刻エリアで、予約開始日時を指定します。

アドバイス

予約時に過去の時間を入力すると、エラーメッセージが表示されます。

10 [完了]ボタンをクリックして、ウィザードを閉じます。

注意

予約TVのスタート時間と、次の予約TVのスタート時間または予約録画のスタート時間は、約10秒程度の差をおく必要があります。

録画を予約する

時間とチャンネルをあらかじめ設定し、録画を予約します。予約録画の手順は次のようになります。

1 **操作パネルを拡張し、[予約]ボタンをクリックします。**
スクリーン上のメディアコントローラから、[TV] → [予約]を選択しても同じ操作を実行できます。

2 **【予約】ダイアログボックスが表示されます。**

3 **[追加]ボタンをクリックします。**

4 **予約ウィザードが起動するので、チャンネルを設定します。**

5 **タイトルを入力します。**

6 **予約種類エリアで、「予約録画」をチェックします。**

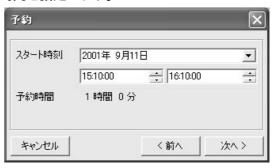
7 **[次へ]ボタンをクリックします。**

8 **スタート時刻エリアで予約したい日を指定します。**
[▼]ボタンをクリックし、年、月、日を選択します。カレンダーの[←][→]ボタンで年月を選択した後、日付を選択します。

アドバイス

年、月、日をマウスとキーボードを使って直接入力することもできます。年、月、日の数字をマウスでクリックし選択状態(数字が青色に変わります)にしてから入力します。キーボードの[↑][↓]キーを使うと数字を増減できます。

9 **スタート時刻エリアで、予約開始時間と終了時間を指定します。**

注 意

先に予約されている時間と重複する録画を追加した場合、エラーメッセージが表示されます。重複しないように設定を確認してください。

アドバイス

予約時に過去の時間を入力すると、エラーメッセージが表示されます。

10 **[次へ]ボタンをクリックして、録画フォーマットを指定します。**
利用できるフォーマットの種類はシステムの性能により異なります。

11 **ファイル名を指定したいときは、「別のファイル名を使用」にチェックマークをいれ、保存先を指定します。**

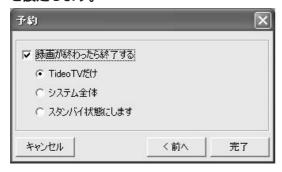
アドバイス

「別のファイル名を使用」にチェックマークをいれない場合、ファイル名は自動的に作成され、保存されます。基本のファイル名は、「入力したタイトル_月日時間.mpg」として保存されます。（例：ニュース_06132103.mpg）

12 **録画中に音を消したい場合は、「録画中に音を消す」にチェックマークを入れます。**

アドバイス

「録画中に音を消す」にチェックマークを入れても、実際の音声は録音されます。

13 **録画が終わった後、TideoTV またはシステムを終了したい場合、「録画が終わったら終了する」にチェックマークをいれ、オプションを設定します。**

14 **[完了]ボタンをクリックして、ウィザードを閉じます。**

予約リストの修正と削除

予約リストに登録した項目をクリックして、予約内容を修正します。

修正　予約リストから予約内容を修正する項目を選択し、このボタンをクリックすると、予約内容の修正ができます。

削除　予約リストで削除したい予約を削除します。

On TV Japanでテレビ番組を予約録画する

On TV Japan のホームページ(http://www.ontvjapan.com)を表示し、番組リストから選択するだけで、予約録画ができます。
ホームページによる TV 番組の予約録画の方法は次の通りです。

1 **操作パネルを拡張し、[iEPG]ボタンをクリックします。**
スクリーン上のメディアコントローラから、[TV]→[iEPG]を選択しても同じ操作を実行できます。

2 **ブラウザが起動し、「On TV Japan」のサイトを表示します。**

(2001 年 9 月現在の画面)

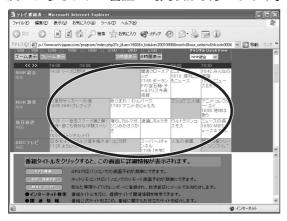
用語

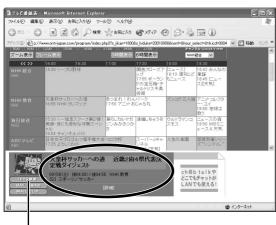
iEPG は、Internet Electronic Program Guide の略で、ソニー株式会社が提唱するインターネットでのテレビ番組予約方式の名称です。

注意

インターネットに接続している必要があります。

3 **テレビ番組表の[GO]ボタンをクリックし、地域を選択します。**

4 **次のようなテレビ番組の時間表が表示されます。**

5 **予約録画したい番組をクリックします。**

6 **下段画面に番組の内容が表示されます。**
画面の下部に、iEPG による録画方法についての詳しい説明が表示されます。

[iEPG録画]ボタン

7 **[iEPG 録画]ボタンをクリックすると番組が登録されます。**

8 **選択した予約番組の情報が自動で入力されます。**

4 ポップアップメニュー

ポップアップメニューには、TideoTVでよく使う機能が表示されます。ここではポップアップメニューのそれぞれの機能について説明します。

ポップアップメニューの表示方法

1 メイン画面や操作パネル上で、右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

プログラム環境設定...
マルチスクリーン Ctrl+M
画面の大きさ
画面の位置
ボリューム
チャンネル
入力信号選択
スキン
静止画像保存 Ctrl+S
静止画像コピー Ctrl+C
録画 Ctrl+R
録画環境設定
バージョン情報...
終了 Alt+F4
TideoTV 2.1

ポップアップメニューの機能説明

■プログラム環境設定

TideoTV のチャンネル、画面、オプション、動画像などの環境を設定します。
プログラム環境設定の細かい内容については、5「環境設定」を参照してください。(☞95 ページ)

■マルチスクリーン（Ctrl+M）

1 つの画面に多くのチャンネルを同時に表示します。表示するチャンネルは[プログラム環境設定]→[チャンネル]タブで登録したチャンネルです。
マルチスクリーン表示から、元の画面に戻すには、特定の画面の上でダブルクリックします。

注意

- **入力信号が TV のときのみ、マルチスクリーン表示ができます。**
- **マルチスクリーン表示での録画はできません。**

■画面の大きさ

メイン画面の大きさを変更します。TideoTV の画面の画質は、**640 × 480 ドット表示を基本とし、160 × 120、320 × 240、400 × 300、640 × 480** のいずれかが最適です。メイン画面の枠をドラッグして自由に調整できますが、画質が低下することがあります。直接マウスで大きさを変更する時には、160 × 120 以下には変更できません。(一部の機種では 160 × 120 は設定できません。)

160×120 (Ctrl+1)	メイン画面の大きさを160×120に設定します。
320×240 (Ctrl+2)	メイン画面の大きさを320×240に設定します。
400×300 (Ctrl+3)	メイン画面の大きさを400×300に設定します。
640×480 (Ctrl+4)	メイン画面の大きさを640×480に設定します。
背景画面 (Ctrl+D)	スクリーンをWindowsの壁紙に全面表示します。 元のサイズに戻すには、操作パネル上で右クリックしてポップアップメニューを表示させるか、ショートカットキーを使用します。
全体画面 (F9)	スクリーンサイズを画面全体に設定します。 操作パネルを表示するにはマウスを左クリックし、元のサイズに画面を戻すにはマウスをダブルクリックします。

アドバイス

スクリーンをダブルクリックすることでも画面を全体画面に設定できます。ただし背景画面をダブルクリックしても全体画面に設定できません。

縦横比維持	直接マウスでスクリーンサイズを変更するとき、画面の縦横比率を維持しながらサイズを変更します。

注意

縦横比維持の設定を外した状態で、マウスを使ってスクリーンサイズを変更する時、サイズは 160 × 120 以下に変更できません。

■画面位置

画面の表示位置を次のように変更します。

上に貼り付け(Ctrl+↑)	画面が上端に移動します。
下に貼り付け(Ctrl+↓)	画面が下端に移動します。
左に貼り付け(Ctrl+←)	画面が左端に移動します。
右に貼り付け(Ctrl+→)	画面が右端に移動します。
常に手前に表示(Ctrl+T)	画面は常に手前に表示されます。(位置は固定されません。)

■ボリューム

ボリューム増加(→)	音量を大きくします。
ボリューム減少(←)	音量を小さくします。
ミュート(M)	音消し状態にします。
ステレオ／音声多重選択(S)	ステレオと音声多重の設定を切り替えます。

■チャンネル

次チャンネル(↑)	登録されているチャンネルの中から、現在のチャンネルより1つ上のチャンネルに切り替えます。
前チャンネル(↓)	登録されているチャンネルの中から、現在のチャンネルより1つ下のチャンネルに切り替えます。
チャンネル+(PgUp)	現在のチャンネルより1つ上のチャンネルに切り替えます。
チャンネル−(PgDn)	現在のチャンネルより1つ下のチャンネルに切り替えます。
リターン(End)	直前に視聴したチャンネルに切り替えます。
チャンネル保存(Ins)	現在のチャンネルを保存します。
チャンネル削除(Del)	現在のチャンネルを削除します。
画質調整(Ctrl+Q)	チャンネルごとに最適の画質を調整できます。
微細調整(Ctrl+F)	チャンネルごとに最適の画質を調整できます。

■入力信号選択

TideoTV は TV チューナ、ビデオ、S-VHS の 3 種類の入力信号から選択して表示できます。
どの入力信号を選択しているかは、ディスプレイパネルに「TV Tuner/Video/S-VIDEO」と表示されます。メイン画面では、「TV/ビデオ/SVHS」の情報を表示した後、消えます。

■スキン

ここで使用しているスキンを変更できます。
詳細は、5「環境設定」の「スキンプロパティ」を参照してください。(☞101 ページ)

■静止画像保存(Ctrl+S)

メイン画面の静止画像を、BMP フォーマットのファイルに保存します。
詳細については、5「環境設定」の「画面プロパティ」を参照してください。(☞96 ページ)

録画時とマルチスクリーン上では、静止画像の保存はできません。

■静止画像コピー(Ctrl+C)

メイン画面の停止映像をクリップボードに一時保存した後、ショートカットキー(Ctrl+V)を使って、他のアプリケーションソフトに貼り付けることができます。

録画時とマルチスクリーン上では停止映像をコピーできません。

■録画(Ctrl+R)

メイン画面の映像を録画します。操作パネルの録画ボタンを押すのと同様です。
録画を終了する場合は、録画ボタンを再度押すか、ポップアップメニューの[録画]を再度選択します。

- **録画中は、TideoTV を終了しないでください。**
- **録画中はシステムに負担がかかり、処理速度が落ちます。なるべく他のプログラムを実行しないでください。**
- **録画中はマルチスクリーンを実行できません。**
- **録画中はチャンネルを変更できません。**

■録画環境設定
録画に必要な環境を設定します。[環境設定]→[録画]タブを選択したときと同じ画面が表示されます。
詳細は、5「環境設定」の「録画プロパティ」を参照してください。(☞97 ページ)

■バージョン情報
TideoTV のバージョンを表示します。

■終了(Alt+F4)
TideoTV を終了します。

5 環境設定

ここでは各タブごとに、環境設定の内容について説明します。

チャンネルプロパティ

チャンネルを登録し、受信方式を設定します。

■登録

[登録]ボタンをクリックすると、【チャンネル編集】ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでチャンネル番号とチャンネル名を入力して[OK]ボタンをクリックします。チャンネル名は、[▼]ボタンをクリックして、選択メニューから選びます。
設定したチャンネルがチャンネルリストに追加されます。

■修正

チャンネルリストから修正したいチャンネルを選択し、[修正]ボタンをクリックします。
【チャンネル編集】ダイアログボックスで、正しく設定しなおします。

■削除

チャンネルリストから削除したいチャンネルを選択し、[削除]ボタンをクリックします。
確認画面が表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。

アドバイス

複数のチャンネルを一度に削除する場合は、チャンネルリストでチャンネルの前にあるチェックボックスをチェックした後、[削除]ボタンをクリックします。

■自動検索

受信できる放送チャンネルを自動で検索し、「登録チャンネル」に登録します。
チャンネルを自動検索している間は次のように表示されます。検索を中止する場合は、[キャンセル]ボタンを押します。

アドバイス

マルチスクリーンの際にチャンネルを画面に表示させたくない場合は、チャンネルリストでチャンネル名の後ろの▣をクリックし、アイコンを消します。再び表示させるにはアイコンがあった部分を再度クリックしてください。

登録したチャンネルに名前(放送局名)をつける①

1 **チャンネルリストの中から、名前をつけたいチャンネルを右クリックします。**

2 **表示される放送局のリストから名前を選択します。**

3 **チャンネルリストに、チャンネル番号と名前が表示されます。**

登録したチャンネルに名前(放送局名)をつける②

1 **チャンネルリストの中から、名前をつけたいチャンネルを右クリックします。**

2 **選択メニューから、[直接入力]を選択します。**

3 【チャンネル編集】ダイアログボックスで、放送局名を直接入力します。

4 [OK]ボタンをクリックします。

5 チャンネルリストに、チャンネル番号と名前が表示されます。

名前(放送局)を修正/キャンセルする

1 チャンネルリストの中から、名前を修正またはキャンセルしたいチャンネルを右クリックします。

2 選択メニューから、[直接入力]を選択します。

3 【チャンネル編集】ダイアログボックスで、放送局名をまたは空白を入力します。

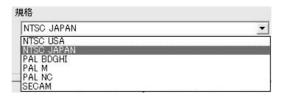
4 [OK]ボタンをクリックします。

■地域選択

[地域選択] ボタンをクリックし、地域選択ウィンドウを表示します。
この地図から地域をクリックすると、その地域で受信可能な放送局リストが設定され、ウィンドウ左下に表示されます。

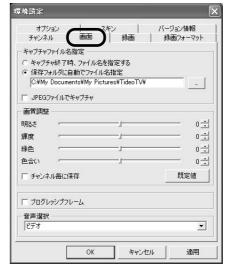
■受信方式

規格

放送規格を選択します。
走査方式によって「NTSC」と「PAL」方式があります。日本では「NTSC」方式を採用しています。

周波数

ケーブル(CATV)方式と地上波(BROADCAST)を選択します。

画面プロパティ

TideoTV のメイン画面の設定を行います。

■キャプチャファイル名指定

キャプチャ終了時、ファイル名を指定する

このオプションを選択すると、操作パネルで[キャプチャ]ボタンをクリックするごとにファイル名を指定して保存することができます。

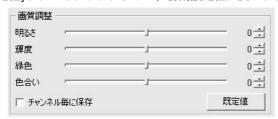
保存フォルダに自動でファイル名指定

初期設定は[マイ ドキュメント]→[マイ ピクチャ]→[TideoTV]に、「TideoTVXXX」の形式のファイル名で自動的に保存されます。
保存フォルダを変更する方法は、「保存フォルダ」のボックスから直接指定する方法と、 ... ボタンを押してフォルダを選択する方法があります。

JPEG ファイルでキャプチャ

このオプションを選択すると、キャプチャした画像を JPEG ファイル形式で指定のフォルダに保存します。通常は BMP ファイル形式で保存します。

■画質調整

スクリーンの画質を最適な状態に合わせるため、明るさ、輝度、彩度、色合いを設定します。設定は、調整スライダーを左右にドラッグするか、 ボタンで値を調整します。なお、[既定値]ボタンをクリックすると、初期設定値に戻します。

明るさ　　：スクリーンの明るさを、−100 ～ 100 の間で設定します。

輝度　　　：スクリーンの輝度を、−100 ～ 100 の間で設定します。

色調(緑色)　：スクリーンの色調を、−100 ～ 100 の間で設定します。

彩度(色合)　：スクリーンの彩度を、−100 ～ 100 の間で設定します。

チャンネル毎に保存

：チャンネルリストに登録されているチャンネルごとに設定値を指定します。チャンネル別に保存されている画質の調整値は、視聴中にキーボードから[Ctrl]+[Q]キーを押して調整することができます。

既定値　　：明るさ・輝度・彩度・色調をすべて 0 の設定値に戻します。

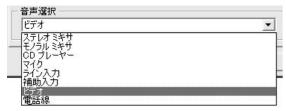
■プログレッシブフレーム

スポーツ、ミュージックビデオなど同じ動きが多い TV 放送を視聴するときに出る横線や透明な残像などを、鮮明に表示できます。

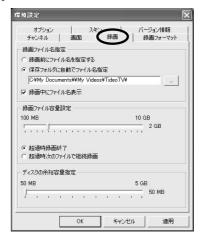
■音声選択

TV 映像を録画するときの音源を設定します。

サウンドカードから選択した音源を出力する場合、その使用したい音源をリストから選択します。

注 意

- Windows のボリューム調節オプションで、選択した音源がミュートにされている場合は、ミュートを解除する必要があります。
- 録画環境を設定した後は、必ず[適用]ボタンで設定を完了します。

録画プロパティ

メイン画面の映像を録画する時、録画条件の設定や、形式を指定します。

■録画ファイル名指定

録画前にファイル名を指定する

このオプションを選択すると、操作パネルで[キャプチャ]ボタンをクリックするごとにファイル名を指定して保存することができます。

保存フォルダに自動でファイル名指定

初期設定は[マイ ドキュメント]→[My Videos]→[TideoTV]に、「TV チャンネル _ 月日 _ 時分秒 _00」の形式のファイル名で自動的に保存されます。

保存フォルダを変更する方法は、「保存フォルダ」のエディットボックスから直接指定する方法と、 ボタンを押してフォルダを選択する方法があります。

録画中にファイル名表示

このオプションを指定すると、録画が進行している間画面にファイル名が表示されます。通常は録画を行って 3 秒後に消えます。

■録画ファイル容量設定

ファイル当最大容量

録画ファイルの最大容量を設定します。ファイル容量は、調整スライダーを左右にドラッグして選択します。

注 意

録画ファイルの最大容量は 100MByte ～ 10GByte の範囲で設定できます。

超過時録画終了

録画中の映像ファイルが、設定したファイル最大容量を超過したとき、録画の停止をします。

超過時次のファイルで継続録画

録画中の映像ファイルが、設定したファイル最大容量を超過したとき、別のファイル名で録画を継続します。

- **連続録画されるファイルの名前は[ファイル名]、[ファイル名(1)]、[ファイル名(2)]、……と設定されます。**
- **他のファイルで連続録画する設定をした時でも、ハードディスクの残り容量が約50MBになると自動的に録画は終了します。**

■ディスクの余裕容量指定

録画の途中で、ディスクの残り容量が指定した容量より少なくなると録画を中断します。最低 50MB から最大 5GB まで設定することができます。

録画フォーマットプロパティ

TideoTV のメイン画面の設定を行います。
細部設定エリアで、設定を確認できます。

録画形式の前にある顔のアイコンは、現在のシステムでの録画最適度を表しています。

😊 この形式で録画するには問題ありません。

😐 この形式で録画する際に、システムに付加がかかり過ぎる場合は、フレームが切れてしまう可能性があります。

😵 この形式で録画するとフレームが切れてしまいます。

MPEG-1 低画質(約 13MB/分)

Format :	MPEG-1
Video format:	160x120, 1.5Mbps, 29.97fps
Video codec:	MPEG-1 Video Codec
Audio format:	192Kbps, 44.1Khz, stereo
Audio codec:	MPEG Audio Codec

[ビデオ]　解像度 160X120、ビットレート 1.5Mbps、秒間フレーム数 29.97fps、MPEG1 フォーマット

[オーディオ]　ビットレート 192Kbps、周波数 44.1Khz、STEREO 対応、MPEG フォーマット

MPEG-1 通常画質(約 17MB/分)

Format :	MPEG-1
Video format:	320x240, 2Mbps, 29.97fps
Video codec:	MPEG-1 Video Codec
Audio format:	192Kbps, 44.1Khz, stereo
Audio codec:	MPEG Audio Codec

[ビデオ]　解像度 320X240、ビットレート 2Mbps、秒間フレーム数 29.97fps、MPEG1 フォーマット

[オーディオ]　ビットレート 192Kbps、周波数 44.1Khz、STEREO 対応、MPEG フォーマット

MPEGI-1 ビデオ CD(約 10MB/分)

Format : MPEG1
Video format : 352x240, 1.07Mbps, 29.97fps
Video codec : MPEG1 Video Codec
Audio format : 224kbps, 44.1kHz, stereo
Audio codec : MPEG Audio Codec

[ビデオ] 解像度 352X240、ビットレート 1.07Mbps、秒間フレーム数 29.97fps、MPEG フォーマット
[オーディオ] ビットレート 224Kbps、周波数 44.1Khz、STEREO 対応、MPEG フォーマット

MPEG-2 通常画質(モード 1)(約 17MB/分)

Format : MPEG-2
Video format: 320x240, 2Mbps, 29.97fps
Video codec: MPEG-2 Video Codec
Audio format: 192Kbps, 44.1Khz, stereo
Audio codec: MPEG Audio Codec

[ビデオ] 解像度 320X240、ビットレート 2Mbps、秒間フレーム数 29.97fps、MPEG2 フォーマット
[オーディオ] ビットレート 192Kbps、周波数 44.1Khz、STEREO 対応、MPEG フォーマット

MPEG-2 通常画質(モード 2)(約 32MB/分)

Format : MPEG-2
Video format: 320x240, 4Mbps, 29.97fps
Video codec: MPEG-2 Video Codec
Audio format: 192Kbps, 44.1Khz, stereo
Audio codec: MPEG Audio Codec

[ビデオ] 解像度 320X240、ビットレート 4Mbps、秒間フレーム数 29.97fps、MPEG2 フォーマット
[オーディオ] ビットレート 192Kbps、周波数 44.1Khz、STEREO 対応、MPEG フォーマット

MPEG-2 通常画質(モード 3)(約 32MB/分)

Format : MPEG2
Video format : 640x240, 4Mbps, 29.97fps
Video codec : MPEG2 Video Codec
Audio format : 192kbps, 44.1kHz, stereo
Audio codec : MPEG Audio Codec

[ビデオ] 解像度 640x240、ビットレート 4Mbps、秒間フレーム数 29.97fps、MPEG2 フォーマット
[オーディオ] ビットレート 192Kbps、周波数 44.1Khz、STEREO 対応、MPEG フォーマット

MPEG-2 高画質(約 32MB/分)

Format : MPEG-2
Video format: 640x480, 4Mbps, 29.97fps
Video codec: MPEG-2 Video Codec
Audio format: 192Kbps, 44.1Khz, stereo
Audio codec: MPEG Audio Codec

[ビデオ] 解像度 640X480、ビットレート 4Mbps、秒間フレーム数 29.97fps、MPEG2 フォーマット
[オーディオ] ビットレート 192Kbps、周波数 44.1Khz、STEREO 対応、MPEG フォーマット

MPEG-2 高画質(プログレッシブ)(約 32MB/分)

Format : MPEG-2
Video format: 640x480, 4Mbps, 29.97fps
Video codec: MPEG-2 Video Codec
Audio format: 192Kbps, 44.1Khz, stereo
Audio codec: MPEG Audio Codec
Deinterlace

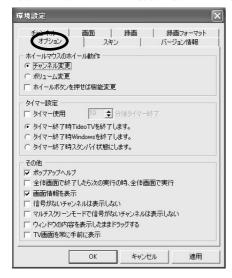
[ビデオ] 解像度 640X480、ビットレート 4Mbps、秒間フレーム数 29.97fps、MPEG2 フォーマット
[オーディオ] ビットレート 192Kbps、周波数 44.1Khz、STEREO 対応、MPEG フォーマット
[プログレッシブフレーム] 透明な横線の残像が現れる TV スクリーンをより鮮明なスクリーンで録画します。

MPEG-2 最高画質(約 48MB/分)

Format : MPEG-2
Video format: 640x480, 6Mbps, 29.97fps
Video codec: MPEG-2 Video Codec
Audio format: 192Kbps, 44.1Khz, stereo
Audio codec: MPEG Audio Codec
Deinterlace

[ビデオ] 解像度 640X480、ビットレート 6Mbps、秒間フレーム数 29.97fps、MPEG2 フォーマット
[オーディオ] ビットレート 192Kbps、周波数 44.1Khz、STEREO 対応、MPEG フォーマット
[プログレッシブフレーム] 透明な横線の残像が現れる TV スクリーンをより鮮明なスクリーンで録画します。

オプションプロパティ

環境設定の各タブで扱っていない情報を設定します。

■ホイールマウスのホイール動作

チャンネル変更

マウスカーソルを操作パネルやスクリーンに合わせた時にホイールを回すと、チャンネルが変更されます。

ボリューム変更

マウスカーソルを操作パネルやスクリーンに合わせた時にホイールを回すと、音量が調節されます。

ホイールボタンを押せば機能変更

ホイールボタンを押すごとに、「音量変更」は「チャンネル変更」に、「チャンネル変更」は「音量変更」に設定が変更されます。変更された機能は、操作を終えた 2 秒後に元の機能に戻ります。

2 つの機能を同時に使用できません。ホイールボタンをクリックして、「チャンネル変更」モードと「音量調整」モードを変えながら調整してください。

■タイマー設定

タイマー使用

タイマー機能を使用します。分単位の設定ができ、設定した時間になると、プログラムを終了します。時間の設定はを使います。

TV 視聴中にキーボードから[Q]キーを押すと 10 分単位でタイマーを設定することができます。

タイマー終了時 TideoTV を終了します。

このオプションを選択すると、タイマー終了時 TideoTV プログラムが終了します。

タイマー終了時 Windows を終了します。

このオプションを選択すると、タイマー終了時 TideoTV を終了した後、Windows も終了します。

タイマーを終了時スタンバイ状態にします。

このオプションを選択すると、タイマー終了時 TideoTV を終了した後、Windows をスタンバイ状態にします。

録画中にタイマー設定はできません。

■その他

ポップアップヘルプ

マウスカーソルをボタンの上に置いたときに、そのボタンに対する説明を表示させます。

全体画面で終了したら次の実行の時、全体画面で実行

フルスクリーンの状態でプログラムを終了した後、次に TideoTV を実行した時もフルスクリーンで再生されます。

画面情報を表示

「録画中」「録画中リプレイ」「ミュート」「チャンネル」などの情報がスクリーンに表示されます。

信号がないチャンネルは表示しない

信号がないチャンネルは青い画面を表示します。

マルチスクリーンモード信号がないチャンネルは表示しない

マルチスクリーンから信号がないチャンネルは青い画面を表示します。

ウィンドウの内容を表示したままドラッグする

マウスで TideoTV を動かしている間でも TV が見えるようにします。このオプションは Windows から設定する「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する」オプションとは別に動作します。

TV 画面を常に手前に表示

TV 画面を常に手前に表示します。

オプションの環境を設定した後は、必ず[適用]ボタンで設定を完了します。

スキンプロパティ

TideoTV のスクリーンと操作パネルの柄(スキン)を選択します。

(ウッド)

(PDA)

(アルミニウム)

6 TideoTVのインストールとアンインストール

TideoTVのインストールとアンインストールについて説明します。

TideoTVのインストール

TideoTVはパソコンの出荷時にインストールされているので、再度インストールする必要はありませんが、システムアップグレードなどでTideoTVを再インストールするときに参照してください。

1 Tideo CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

2 「Tideo TVをインストールします。」を選択すると、次のような画面が表示されます。

アドバイス

[スタート]メニューから、TideoTVを直接実行することもできます。[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択した後、「D:\TideoTV\setup.exe」と入力して[OK]ボタンをクリックします。CD-ROMドライブの名前がE:の場合は、D:のかわりにE:と入力します。

3 しばらくすると、インストールプログラムのメイン画面が表示されます。

4 [次へ]ボタンをクリックすると、フォルダ選択画面に移ります。

5 フォルダ選択画面でTideoTVをインストールするフォルダを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

TideoTVは、初期設定で「C:\Program Files\Sotec\TideoTV」フォルダにインストールされます。

6 他のフォルダにインストールしたい場合には、[参照]ボタンをクリックして、フォルダを選択します。

7 TideoTVのアイコンを配置するプログラムグループを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

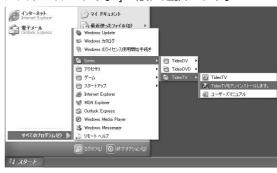
初期設定で、[プログラム]→[Sotec]→[TideoTV]に保存されます。

8 **インストールに必要なすべての設定が終了したら、ファイルのコピーを開始します。**

ファイルをコピーするときにかかる時間は、コンピュータの仕様によって違いますが、約 2 〜 5 分です。

9 **[完了]ボタンをクリックして、TideoTV のインストールを終了します。**

TideoTV のアンインストール

1 **[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Sotec]→[TideoTV]→[TideoTV をアンインストールします。]の順に選択します。**

2 **TideoTV のアンインストールを実行するかを確認するダイアログが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。**

3 **アンインストールを準備する画面が表示された後、アンインストールを開始します。**

4 **アンインストールの終了後、[OK]ボタンをクリックします。**

7 ショートカットキーでの操作

TideoTV はマウスの操作だけでなく、キーボードを使って操作できます。

ショートカットキーとは、キーボード上の特定のキーを使って直接 TideoTV の機能を実行させるものです。機能が割り当てられたキーを次に紹介します。

■ショートカットキー一覧

キーおよびキーの組み合わせ	機　能	キーおよびキーの組み合わせ	機　能
↑	チャンネル増加	Ctrl+Shift+O	ファイル再生終了
→	音量増加	Ctrl+Shift+R	スクリーン録画中止
↓	チャンネル減少	F1	ヘルプ
←	音量減少	F5	TV入力信号選択
Alt+F4	TideoTV終了	F6	ビデオ入力信号選択
Ctrl+↑	スクリーンを上に表示	F7	S-VIDEO入力信号選択
Ctrl+→	スクリーンを右に表示	F9	全体スクリーン
Ctrl+↓	スクリーンを下に表示	Num-	Fine-Turn値増加
Ctrl+←	スクリーンを左に表示	Num*	Fine-Turn値復帰
Ctrl+1	１６０×１２０画面で表示	Num+	Fine-Turn値減少
Ctrl+2	３２０×２４０画面で表示	M	ミュート
Ctrl+3	４００×３００画面で表示	Q	Off-Timer設定
Ctrl+4	６４０×４８０画面で表示	S	音声多重モード設定
Ctrl+C	静止画像のコピー	Ins	チャンネル登録
Ctrl+F	Fine-Turn調整ダイアログ	Home	入力信号選択
Ctrl+O	ファイル再生スタート	PgUp	チャンネル番号1つ増加
Ctrl+Q	画質調整ダイアログ	Del	チャンネル削除
Ctrl+R	スクリーン録画	End	以前チャンネル
Ctrl+S	静止画像の保存	PgDn	チャンネル番号１つ減少

8 よくある質問とその回答

視聴に関して

Q TideoTV を見ている時に TideoDVD が再生できない。

A Video Overlay を使う他のプログラムは同時に再生できません。例えば、TideoTV を見ているときは TideoDVD を再生することができません。

Q スクリーンが出ないのですがどうしたらいいのか。

A テレビアンテナが正しく接続されているか確認してください。もしくは、受信方式の規格が NTSC JAPAN に設定されているか確認してください。

Q チャンネルはどう設定したらよいのか。

A [環境設定]→[チャンネル]タブの[自動検索]ボタンを使用すると簡単にチャンネル設定ができます。チャンネル名を付けるには、[環境設定]→[チャンネル]タブの[地域選択]ボタンで地域の選択をした後で、放送局の名前を選択します。
名前を付ける方法は次のような 2 つの方法があります。
・チャンネルをマウスで右クリックすると放送局の選択メニューが表示されます。この中から名前を選択します。
・チャンネルをマウスで右クリックすると放送局の選択メニューが表示されます。この中から、[直接入力] を選択して、名前を直接入力します。

Q [－]/[＋]ボタンをクリックしてもチャンネルが変わりません。

A [－]/[＋]ボタンでのチャンネル変更は、[環境設定]→[チャンネル]タブで登録されているチャンネルが対象になります。

Q マルチスクリーンが表示されないのですがどうしたらいいのか。

A マルチスクリーンの表示は、[環境設定]→[チャンネル]タブで登録されているチャンネルが対象になります。

Q スクリーンがうまく表示されないのですが画質はどのように調節したらいいのか。

A ポップアップメニュー→[チャンネル]→[画面調整]で画質調整します。

録画/リプレイに関して

Q ファイルの録画時間はどれぐらいでしょうか。

A 次の録画時間が可能です。なお、Windows Me で録画できる 1 ファイルの大きさの制限は 4G バイトです。

録画ファイル形式	ビットレート (bps/秒)	ファイル容量 (約MB/分)
MPEG-1　低画質	1.5Mbps	13MB
MPEG-1　通常画質	2Mbps	17MB
MPEG-1　ビデオCD	1.07Mbps	10MB
MPEG-2　通常画質1	2Mbps	17MB
MPEG-2　通常画質2	4Mbps	32MB
MPEG-2　通常画質3	4Mbps	32MB
MPEG-2　高画質	4Mbps	32MB
MPEG-2　高画質(ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ)	4Mbps	32MB
MPEG-2　最高画質	6Mbps	48MB

Q TideoTV を録画時に他のプログラムと一緒に使うと、画面と音が若干ずれて録画されます。

A 他のプログラムを終了してから録画してください。この様な現象はリプレイ画面で再生する場合にも起こります。

Q 録画したものを再生したら画面や音がずれてしまっていた。

A 録画動作は CPU に大きな負担を与えます。そのため他のプログラムを同時に使うと、録画がずれてしまうことがあります。
例) Outlook の起動、Word のスペルチェック、ウィルススキャン動作など。

Q 録画する途中にミュートをしても音は録音されるのですか。

A 途中でミュートしても音は録音されます。

Q　録音したファイルを分割するなどの編集は可能ですか。

A　編集はできません。

Q　録画したファイルが保存されている場所はどこですか。

A　[マイ ドキュメント]→[My Videos]→[TideoTV]に保存されます。ファイルの保存先は、[環境設定]→[録画]タブの[録画ファイル名指定]で変更できます。

スクリーンサイズに関して

Q　スクリーンを最小化したのですが、もう一度スクリーンを呼び出す方法がわかりません。

A　Windows のタスクバーに最小化されている TideoTV のアイコンをクリックします。